

中小企業景況調査報告書

(第121回)

平成23年 1 ~ 3 月期 実 績

平成23年 4 ~ 6 月期 見通し

平成23年 4 月

北海道商工会議所連合会

目 次

． 調 査 要 領	
1． 調査時点及び調査対象期間	1
2． 調査対象	1
3． 調査地域及び調査方法	1
4． 業種別・規模別回答状況	1
． 概 況	2
1． 今期の業況	
(1) 今期の業況	5
(2) 今期の売上高	7
(3) 今期の採算（経常利益）	8
(4) 今期の資金繰り	10
(5) 今期の経営上の問題点	11
(6) 今期の従業員の動向	11
(7) 今期の新規設備投資	12
2． 来期の見通し	
(1) 来期の業況	13
(2) 来期の売上高	14
(3) 来期の採算（経常利益）	14
(4) 来期の新規設備投資	15
． 業 種 別 の 動 向	
1． 製 造 業	15
2． 建 設 業	17
3． 卸 売 業	19
4． 小 売 業	20
5． サービス業	22
． 業 種 別 調 査 資 料	24

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成23年3月初旬(東日本大震災前)
- (2) 調査対象期間 平成23年1～3月期実績及び平成23年4～6月期の見通し

2. 調査対象

(1) 中小企業景況調査

「製造業・建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、「卸売業」については、資本金1億円以下、又は従業員100人以下の企業、「小売業」については、資本金5千万円以下、又は従業員50人以下の企業、「サービス業」については、資本金5千万円以下、又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(2) 業界動向調査

道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。また各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

- 全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)
- 全道商工会議所を通じて地域の業界組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

4. 業種別・規模別回答状況(社数)

(1) 中小企業景況調査

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
小規模	44	61	41	63	63	272
中規模	14	12	20	14	25	85
合計	58	73	61	77	88	357
構成比(%)	16.2	20.4	17.1	21.6	24.7	100.0

(2) 業界動向調査

- ・業界動向ヒアリング先 製造業 26社、建設業 18社、卸売業 16社、
小売業 21社、サービス業 44社、合計 125社

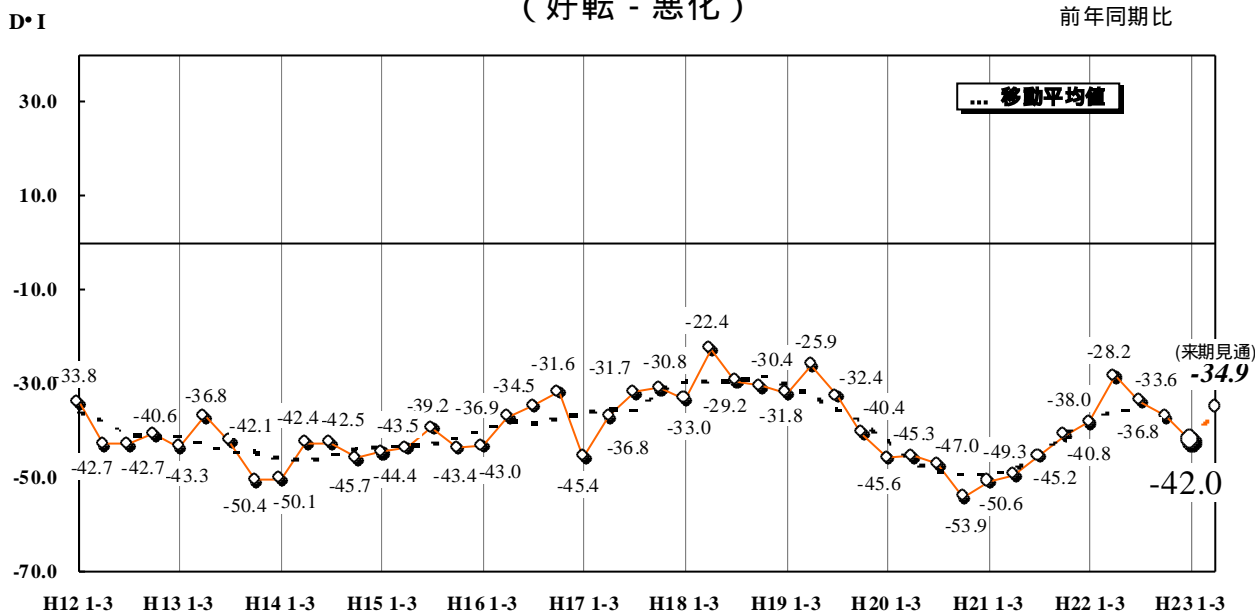
本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。

ホームページ: URL <http://www.hokkaido.cci.or.jp/keiki/>

概況

- 業況D・Iは更に悪化、不透明感増す -

業況推移（全業種平均D・I）
（好転 - 悪化）



今期の業況

四半期毎に実施している、中小企業景況調査の今期（1月～3月期）の全業種平均D・I値（「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差）は、前年同期比（平成22年1月～3月期の水準と比較した今期の業況）では 42.0、前期比（平成22年10月～12月期の水準と比較した今期の業況）では 39.7となっており、前年同期比と前期比共に業況は悪化した。

前回の調査（平成22年10月～12月期）時点からの推移では、全業種平均D・I値は、前年同期比では前回 36.8 今回 42.0と5.2ポイントマイナス幅が拡大し、前期比では前回 28.0 今回 39.7と11.7ポイントマイナス幅が拡大している。

業種別では、前年同期比では、製造(前回 44.3 今回 46.5)、建設(前回 37.0 今回 47.9)、卸売(前回 33.9 今回 34.4)、小売(前回 37.3 今回 39.5)、サービス(前回 31.1 今回 41.5)と、全業種でマイナス幅が拡大、特に建設業とサービス業については10.0ポイント以上大きく悪化する結果となった。

来期の業況見通しは、全業種平均D・I値で、前年同期比（平成22年4月～6月期の水準と比較した来期の見通し）では、 34.9とマイナス幅を縮小する見通しとなっている。

今期の経営上の問題点として上位に挙げられているものは、全業種で「需要の停滞」(製造業43.3%、建設業50.0%、卸売業53.5%、小売業32.2%、サービス業40.7%)が依然として大きな要因となっている他、製造業では「原材料価格の上昇」(14.8%)、建設業では「請負単価の低下・上昇難」(30.9%)、卸売業では「仕入単価の上昇」(12.5%)、小売業では「大型店・中型店進出競争の激化」(14.7%)、サービス業では「大企業進出による競争の激化」(11.4%)などの問題点が浮上している。

一方、設備投資の状況については、今期、新たに設備投資を行った企業は全業種平均で8.1%と、前回調査時(13.5%)より5.4%低下。また来期の設備投資予定についても8.8%と設備投資を控える動きが続いている。

産業別の動向

【製造業】 [業況D・I値(前年同期比) 46.5(来期見通し 42.1)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成22年10月~12月期)時点からの推移では、前回 44.3 今回 46.5と2.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、原材料価格の上昇や、製品加工単価の低下・上昇難による採算が悪化したとの声が多い。

〔主なコメント〕

- ・需要の停滞に加え、震災により原材料や包装資材の上昇等の悪化要因が加わり、来期の見通しが立たない。(飲料品製造)
- ・震災の影響で一貫した製造をストップしており、未だ本格操業に至っていない。また、部品調達等の影響も懸念され先行き不透明。(自動車関連製造業)
- ・価格競争の波にさらされ、利益が伸びない。また震災の影響で東京から紙を入手できない状況。(印刷業)
- ・1月頃から原材料の仕入単価と灯油価格が値上がりしたのに対し、価格に転嫁できずに利益を圧迫している。(パン・菓子製造)

【建設業】 [業況D・I値(前年同期比) 47.9(来期見通し 40.6)]

業況D・I値(前年同期比)の前の調査(平成22年10月~12月期)時点からの推移では、前回 37.0 今回 47.9と10.9ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、官公需要の停滞による受注の減少や、請負単価の低下・上昇難による採算の悪化に加え、震災の影響により建築資材が入荷しないと訴える声があった。

〔主なコメント〕

- ・震災の影響で型式番号どおりの製品が手に入らず、お客の要望に応えられなく苦慮している。
(建設業)
- ・資材確保が困難となっている。原油価格高騰も企業経営に大きく影響を及ぼす。(建築工事業)
- ・工事単価の減少と季節的要因による売上減により、資金繰りに苦慮している。(土木工事)
- ・リフォームに力を入れたいところだが、現状過当競争気味である。また、外注費が多くなり原価の合わない結果になってしまうケースもある。(塗装業)

【卸売業】 [業況D・I値（前年同期比） 34.4（来期見通 26.7）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成22年10月～12月期）時点からの推移では、前回 33.9 今回 34.4と0.5ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、需要の停滞や仕入単価の上昇による業況の悪化を訴える声が目立つ。

〔主なコメント〕

- ・ 需要の停滞により価格競争が厳しく、仕入価格や経費の上昇分を販売価格に転嫁できないため、利幅が薄く採算は悪化している。(機械部品卸売)
- ・ 原油価格上昇に伴う仕入価格の値上げが予定されており、どの程度販売価格に反映できるかが問題。一方価格競争は激化しており、値下げで他社へ仕事が流れることが心配。(金属材料卸売)
- ・ ガソリンなどの値上げによる経費負担、配送費の上昇により経営は苦しい。卸売先の拡大をしても、経費負担が大きすぎる。(食料飲料卸売)
- ・ 肥料・飼料メーカーの工場が震災地にあり、今後入荷予定の見通しはたっていない。

(農業資材卸売)

【小売業】 [業況D・I値（前年同期比） 39.5（来期見通 31.6）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成22年10月～12月期）時点からの推移では、前回 37.3 今回 39.5と2.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、大型店・中型店進出競争の激化や個人消費の低迷に加え、震災の影響による混乱を訴える声が小売業では特に多かった。

〔主なコメント〕

- ・ 震災後、観光客の減少により売上が50%減少している。(空港土産店)
- ・ 震災による買いだめにより、一部商品の売上が増加しており、供給が間に合わない商品がある。(ドラッグストア)
- ・ ショッピングセンターやモールへと消費者ニーズが移行。更にネット販売・通販へシフトされ、専門店の存在感が低下している。(化粧品クオリティ販売)
- ・ 煙草などの商品が震災による物流不具合等の影響で入荷出来ない。(コンビニエンスストア)

【サービス業】 [業況D・I値（前年同期比） 41.5（来期見通 33.7）]

業況D・I値（前年同期比）の前の調査（平成22年10月～12月期）時点からの推移では、前回 31.1 今回 41.5と10.4ポイントマイナス幅が拡大した。

業界組合・企業よりのコメントでは、震災の影響による需要の停滞を訴える声があった。

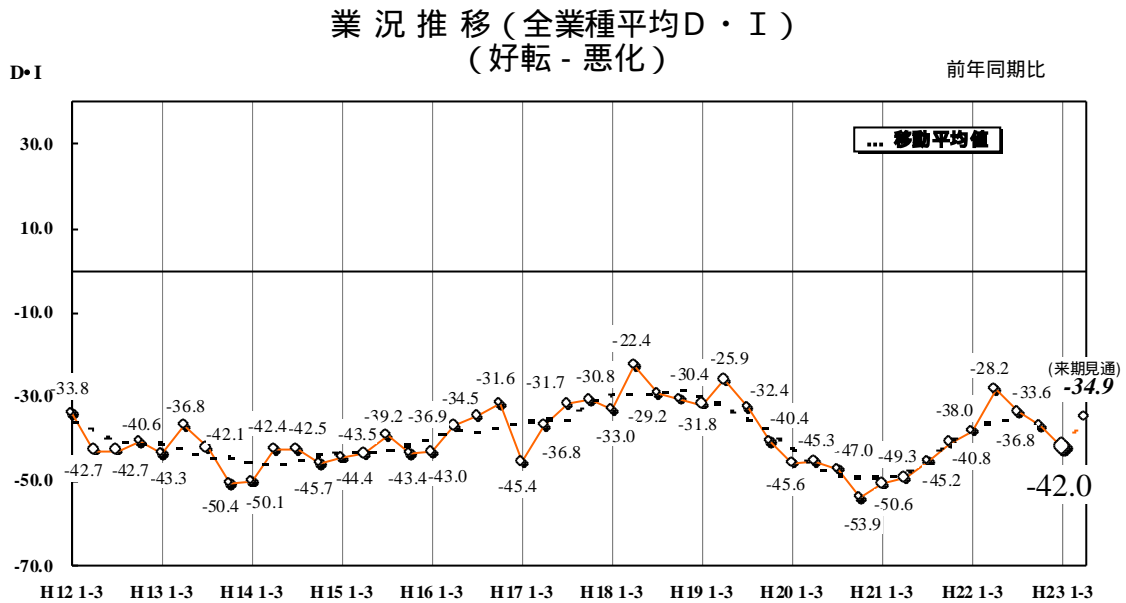
〔主なコメント〕

- ・ 被災者への配慮から送別会を自粛する動きが広がっている。書入れ時だけに非常に厳しいが、理解はできる。しかしながら過剰な反応は、経済全体を疲弊させることとなる。(飲食店)
- ・ 震災後、自衛隊の災害派遣で、予約がキャンセルとなっている。一部一般客にも宴会の自粛が見られる。(飲食店)
- ・ 国内の消費マインドは自粛ムードであり地域のホテル入込数は低調である。海外観光客も日本を敬遠する傾向があり、この状況が長引けば地元のみならず観光業界に大きな打撃となると思われる。(ホテル)
- ・ 東日本大震災の影響により海外からの観光客はキャンセル等により、4月以降低調な入込推移が予想される。(観光業)

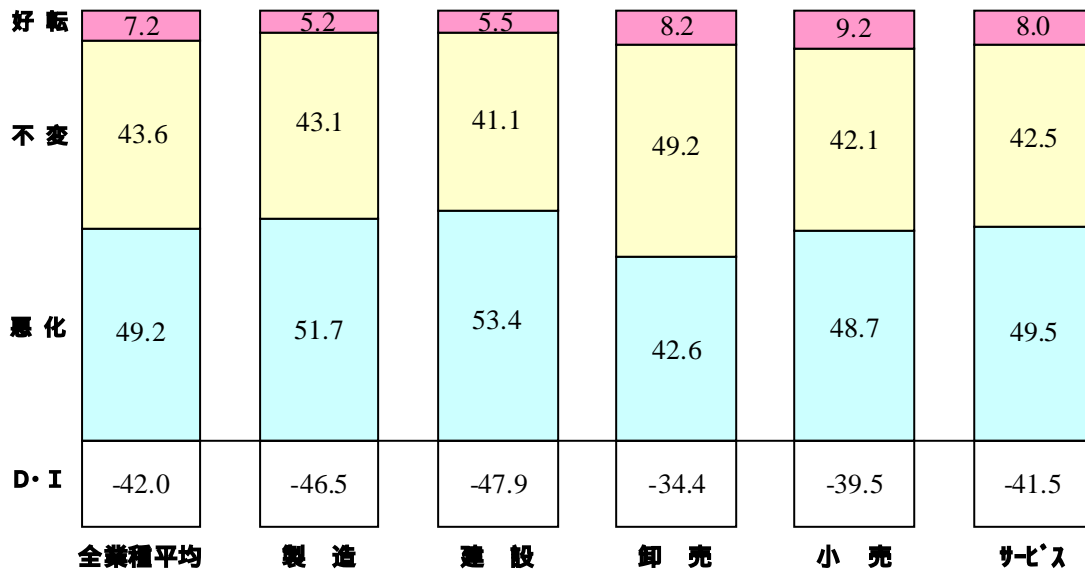
1. 今期の業況

(1) 今期の業況

【前年同期比】（平成22年 1～3月期の水準と比較した今期の業況）



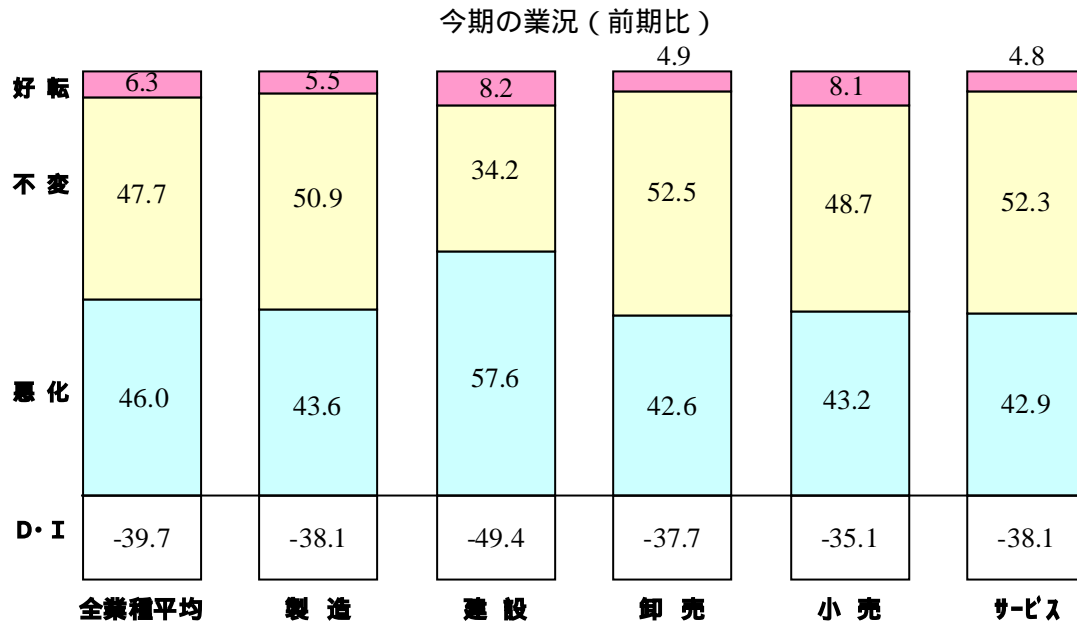
今期の業況（前年同期比）



全業種平均でD・I値 **42.0**〔前回調査時（平成23年1～3月期 36.8）より5.2ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 44.3 46.5〕、建設〔前回 37.0 47.9〕
卸売〔前回 33.9 34.4〕、小売〔前回 37.3 39.5〕
サービス〔前回 31.1 41.5〕

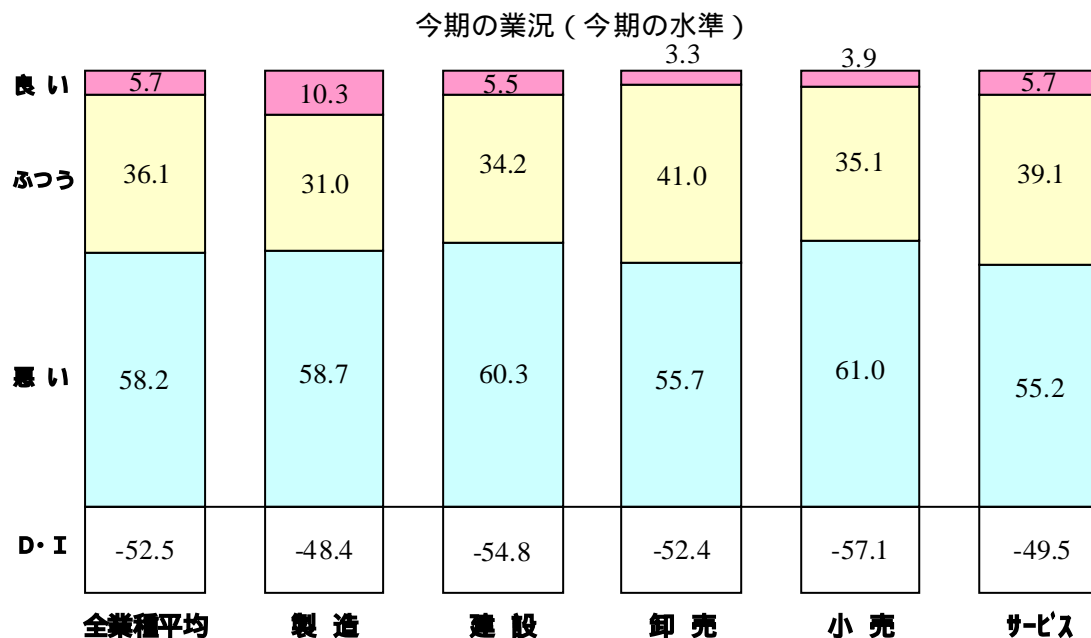
【前期比】（平成22年 10 ～ 12 月期の水準と比較した今期の業況）



全業種平均でD・I値 **39.7**〔前回調査時（平成22年10～12月期 28.0）より11.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 38.3 38.1〕、建設〔前回 23.9 49.4〕
卸売〔前回 18.6 37.7〕、小売〔前回 28.2 35.1〕
サービス〔前回 31.1 38.1〕

【今期の水準】



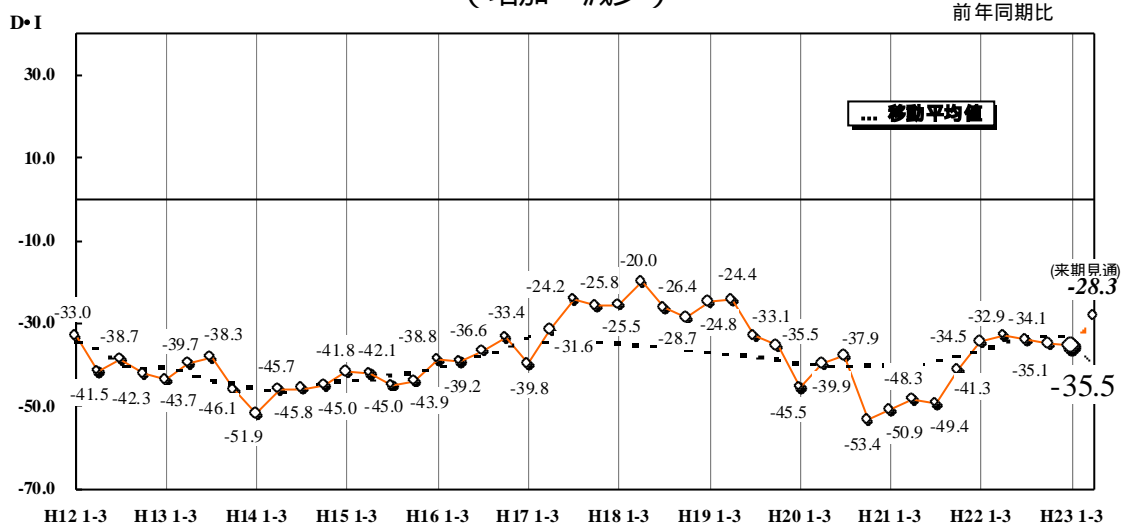
全業種平均でD・I値 **52.5**〔前回調査時（平成22年10～12月期 42.6）より9.9ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 55.7 48.4〕、建設〔前回 35.6 54.8〕
卸売〔前回 37.3 52.4〕、小売〔前回 49.3 57.1〕
サービス〔前回 34.9 49.5〕

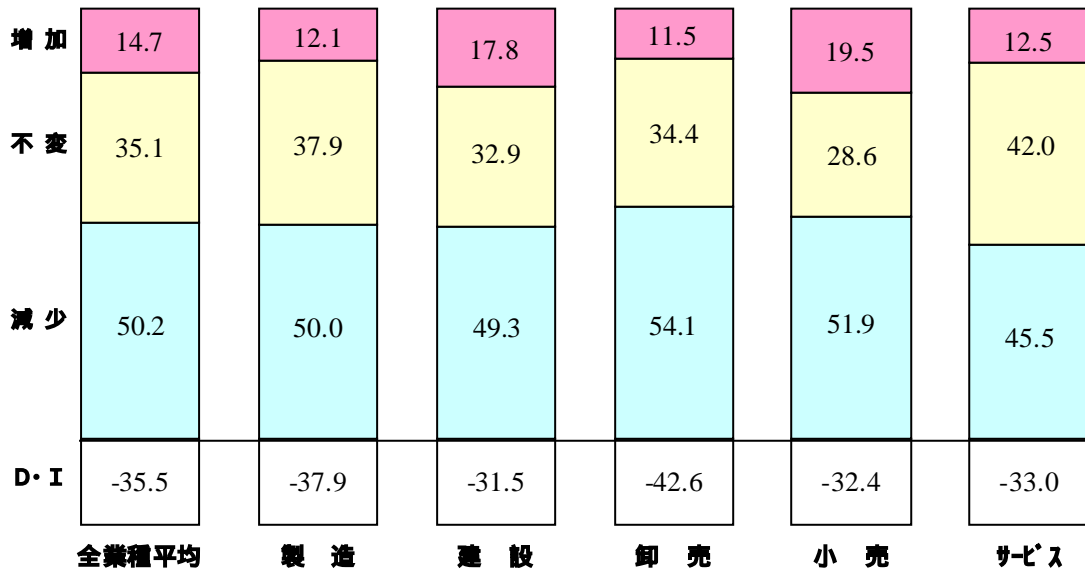
(2) 今期の売上高

【前年同期比】（平成22年 1～3月期の水準と比較した今期の売上高）

売上高推移（全業種平均D・I）
（増加・減少）



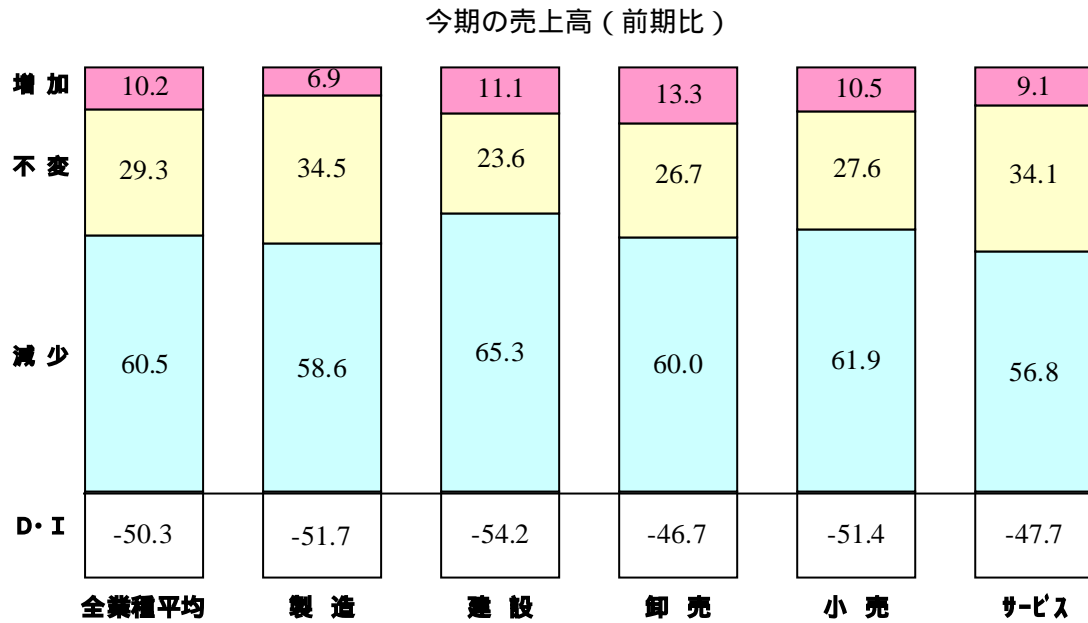
今期の売上高（前年同期比）



全業種平均でD・I値 35.5〔前回調査時（平成22年10～12月期 35.1）より0.4ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 42.5 37.9〕、建設〔前回 28.7 31.5〕
卸売〔前回 38.9 42.6〕、小売〔前回 44.0 32.4〕
サービス〔前回 21.6 33.0〕

【前期比】（平成22年 10～12月期の水準と比較した今期の売上高）

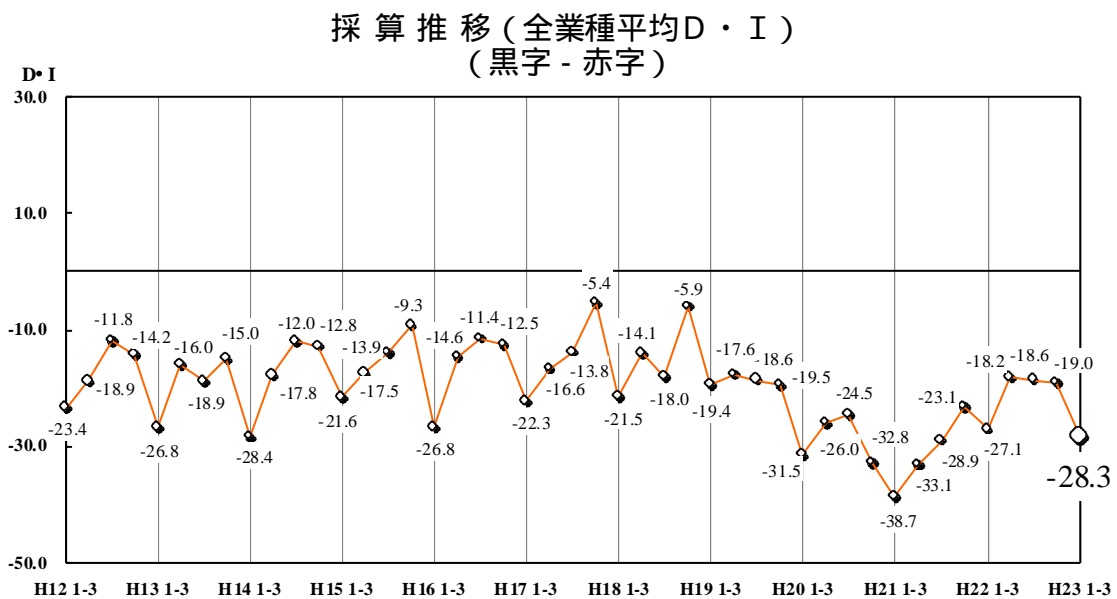


全業種平均でD・I値 **50.3**〔前回調査時（平成22年10～12月期 20.6）より29.7ポイントマイナス幅が拡大〕。

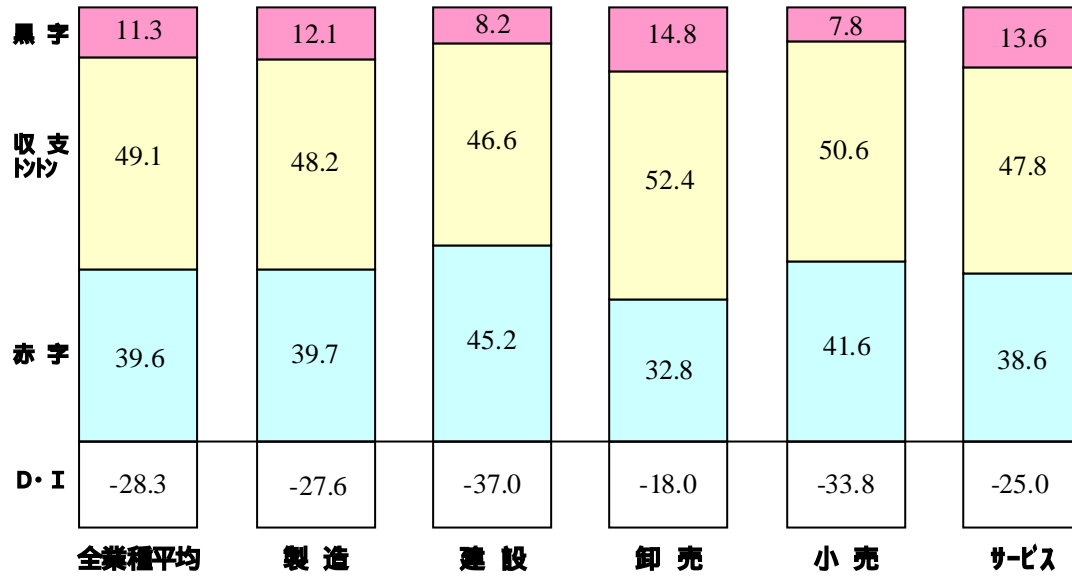
〔業種別D・I値〕 製造〔前回 36.1 51.7〕、建設〔前回 12.5 54.2〕
 卸売〔前回 11.9 46.7〕、小売〔前回 19.9 51.4〕
 サービス〔前回 22.6 47.7〕

(3) 今期の採算（経常利益）

【今期水準】



今期の採算（今期の水準）

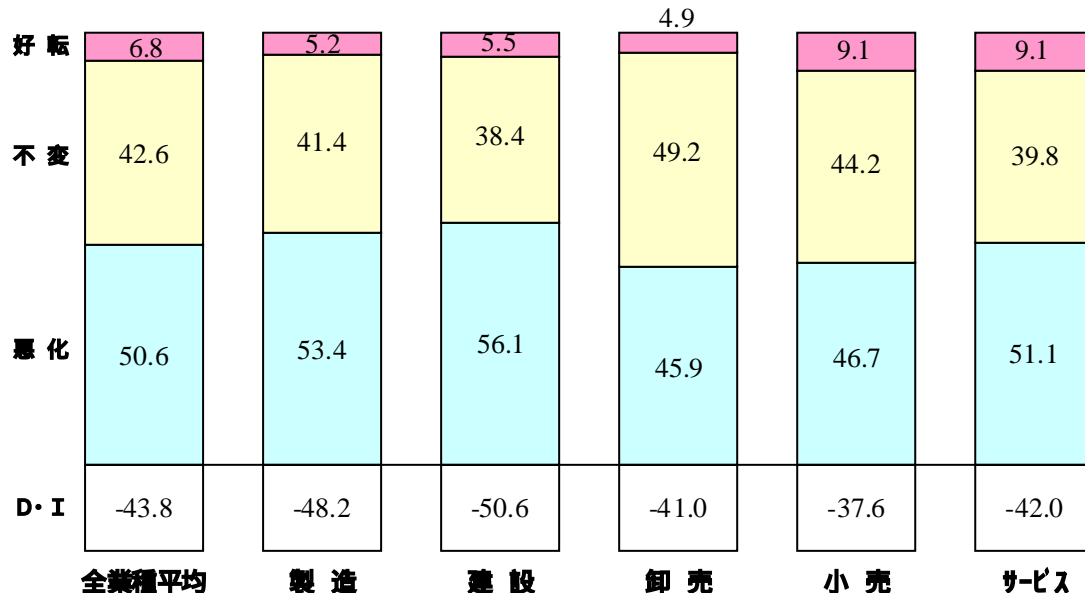


全業種平均でD・I値 **28.3**〔前回調査時（平成22年10～12月期 19.0）より9.3ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 24.6 27.6〕、建設〔前回 19.1 37.0〕
卸売〔前回 11.8 18.0〕、小売〔前回 28.0 33.8〕
サービス〔前回 11.4 25.0〕

【前年同期比】（平成22年 1～3月期の水準と比較した今期の採算）

今期の採算（前年同期比）



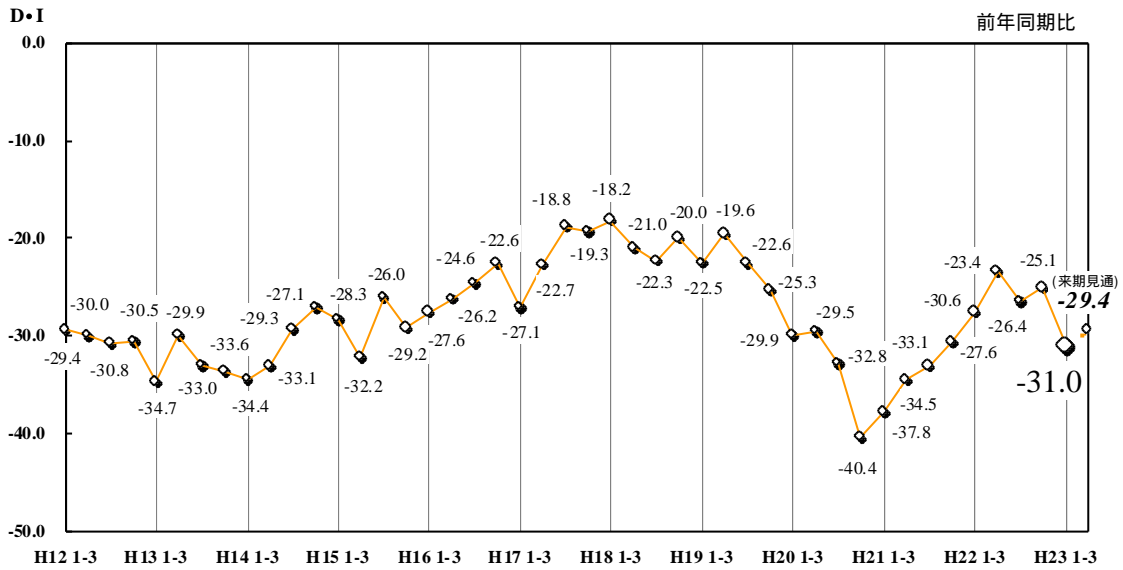
全業種平均でD・I値 **43.8**〔前回調査時（平成22年10～12月期 39.0）より4.8ポイントマイナス幅が拡大〕。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 43.3 48.2〕、建設〔前回 45.3 50.6〕
卸売〔前回 39.0 41.0〕、小売〔前回 38.3 37.6〕
サービス〔前回 29.2 42.0〕

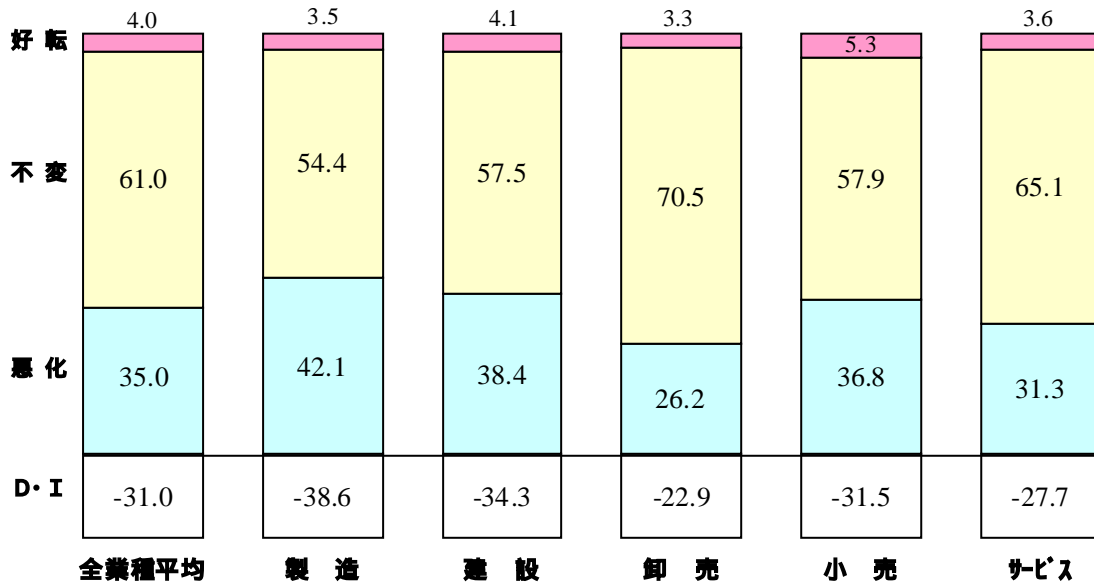
(4) 今期の資金繰り

【前年同期比】（平成22年 1～3月期の水準と比較した今期の資金繰り）

資金繰り推移（全業種平均D・I）
（好転 - 悪化）



今期の資金繰り（前年同期比）



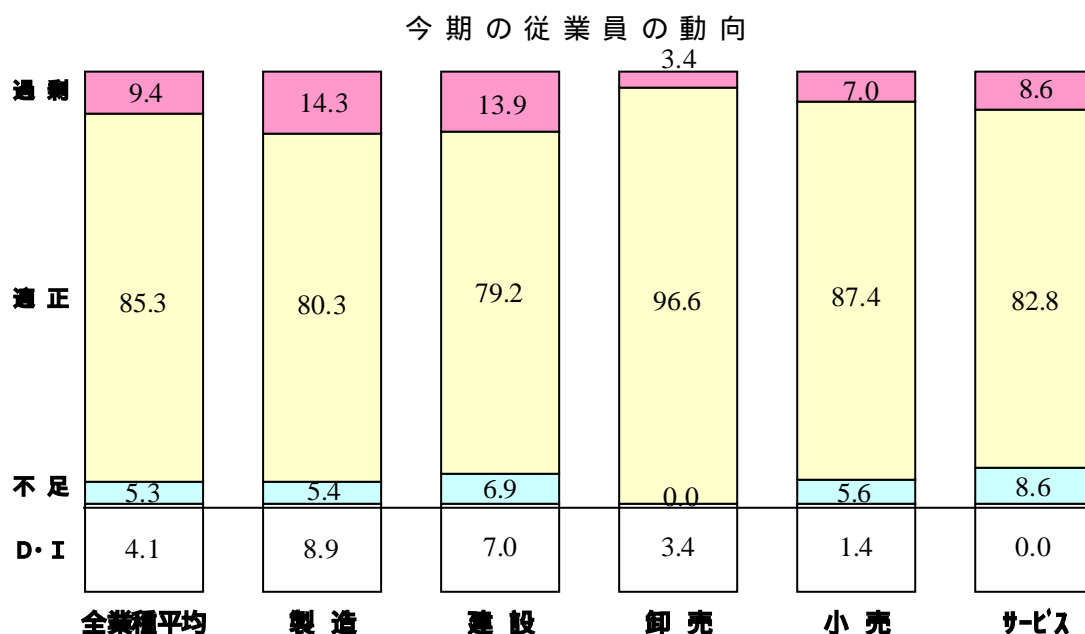
全業種平均でD・I値 **31.0**〔前回調査時（平成22年10～12月期 25.1）より5.9ポイントマイナス幅が拡大〕。前回調査時に比べ、D・Iはマイナス幅が縮小しているが、総じて全業種ともに不変とする回答が過半数を超えている。

〔業種別D・I値〕 製造〔前回 29.5 38.6〕、建設〔前回 25.0 34.3〕
卸売〔前回 20.3 22.9〕、小売〔前回 22.0 31.5〕
サービス〔前回 28.3 27.7〕

(5) 今期の経営上の問題点（1位に挙げられた項目）

製造業	「需要の停滞」	(43.3%) [前回 55.4%]
	「原材料価格の上昇」	(14.8%) [前回 3.7%]
	「取引条件の悪化」	(11.3%) [前回 5.6%]
建設業	「請負単価の低下・上昇難」	(30.9%) [前回 26.2%]
	「官公需要の停滞」	(28.8%) [前回 30.9%]
	「民間需要の停滞」	(21.2%) [前回 13.8%]
卸売業	「需要の停滞」	(53.5%) [前回 62.1%]
	「仕入単価の上昇」	(12.5%) [前回 7.5%]
	「販売単価の低下・上昇難」	(8.9%) [前回 3.8%]
小売業	「需要の停滞」	(32.2%) [前回 31.4%]
	「大型店・中型店進出競争の激化」	(14.7%) [前回 19.2%]
	「消費者ニーズの変化への対応」	(11.8%) [前回 12.3%]
サービス業	「需要の停滞」	(40.7%) [前回 40.0%]
	「大企業進出による競争の激化」	(11.4%) [前回 8.8%]
	「利用者ニーズの変化への対応」	(10.1%) [前回 12.5%]
	「利用料金の低下・上昇難」	(10.1%) [前回 5.0%]

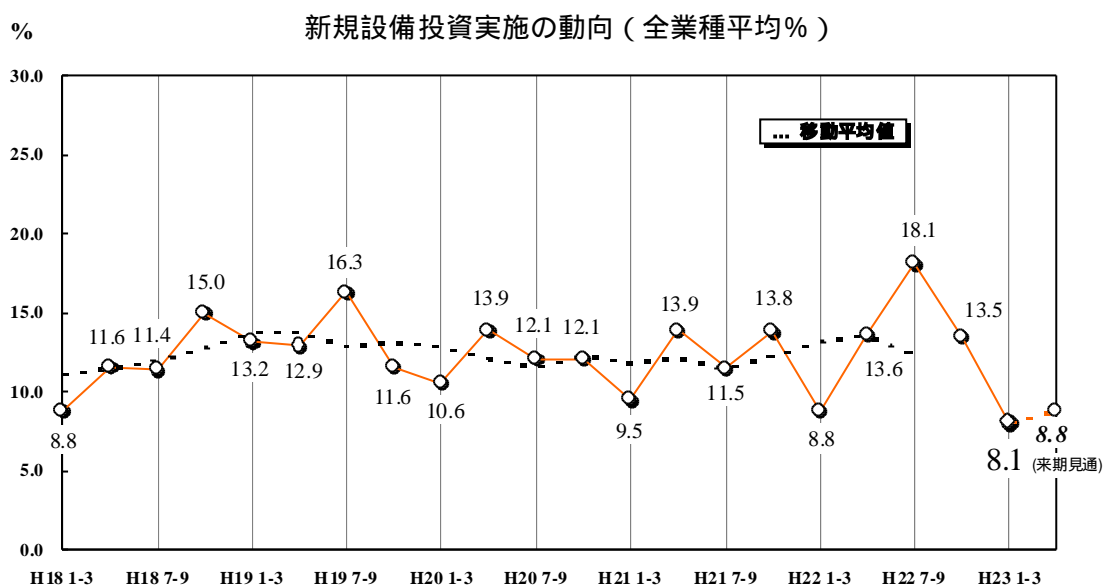
(6) 今期の従業員の動向



全業種平均でD・I値では 4.1〔前回調査時（平成22年10～12月期 0.8）〕と、過剰とする企業が増加したが、依然「適正」（85.3%）とする企業が大勢を占めている。

[業種別D・I値] 製造〔前回 8.2 8.9〕（適正80.3%）
 建設〔前回 4.2 7.0〕（適正79.2%）
 卸売〔前回 7.1 3.4〕（適正96.6%）
 小売〔前回 0.0 1.4〕（適正87.4%）
 サービス〔前回 1.2 0.0〕（適正82.8%）

(7) 今期の新規設備投資



（単位％）

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施した	13.8	5.6	8.3	3.9	9.1	8.1
土地	0.0	0.0	20.0	0.0	12.5	6.5
工場建物、建物、店舗	0.0	25.0	20.0	66.7	12.5	24.8
生産・販売・サービス設備、建設機械	50.0	0.0	0.0	33.3	25.0	21.7
車両運搬具	50.0	25.0	40.0	0.0	25.0	28.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	0.0	0.0	0.0	33.3	37.5	14.2
O A 機器	0.0	25.0	40.0	100.0	75.0	48.0
厚生施設	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	5.0
その他	12.5	0.0	20.0	0.0	0.0	6.5
実施していない	86.2	94.4	91.7	96.1	90.9	91.9

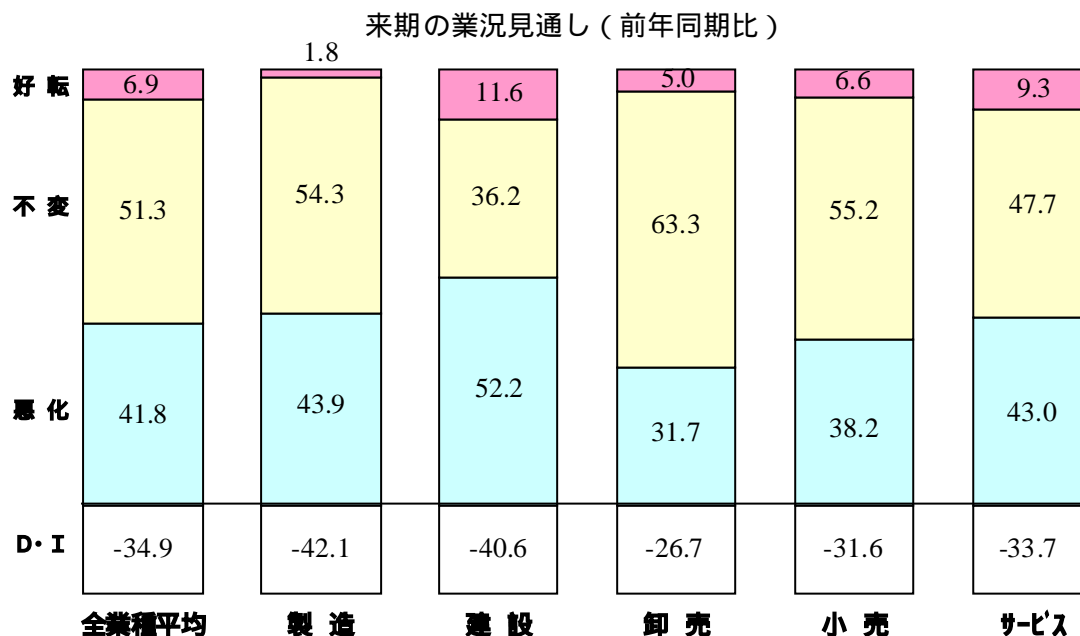
新たに設備投資を実施した企業は平均で8.1％〔前回調査時（平成22年10～12月期8.8％）〕、業種別では製造〔前回16.7％ 13.8％〕、建設〔前回11.1％ 5.6％〕、卸売〔前回8.6％ 8.3％〕、小売〔前回10.7％ 3.9％〕、サービス〔前回20.2％ 9.1％〕と、全業種について前回調査時の水準を下回った。

2. 来期の見通し

本調査は3月11日の東日本大震災前の調査となっております。

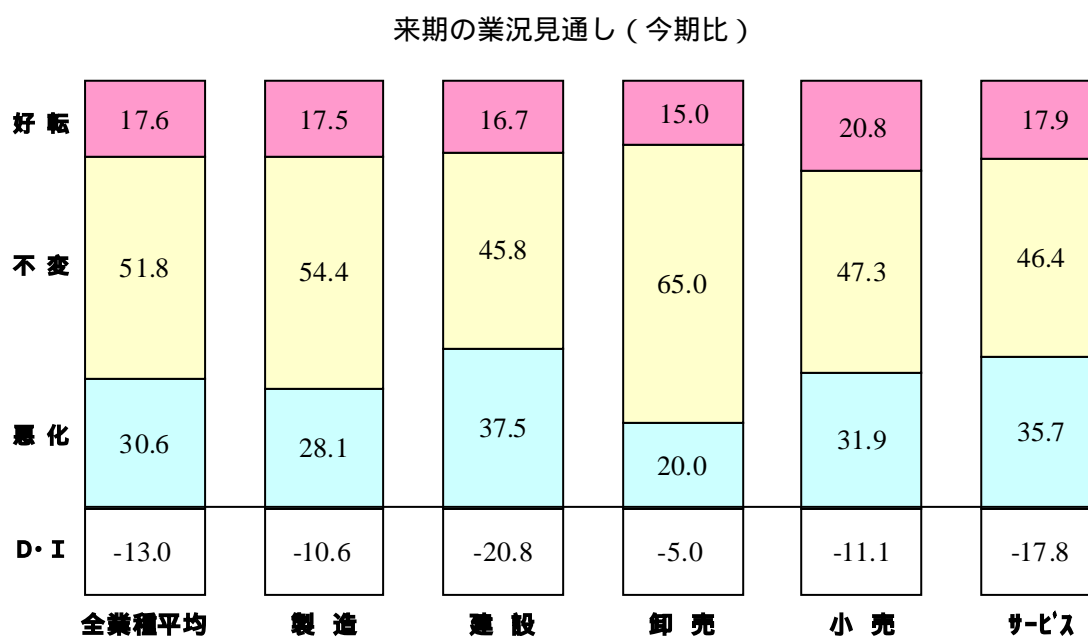
(1) 来期の業況

【前年同期比】（平成22年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）



全業種平均でD・I値 **34.9**〔今期の業況（前年同期比 42.0）より7.1ポイントマイナス幅が縮小〕と、一部持ち直しの動きが見られるものの業況は依然低迷が続く。

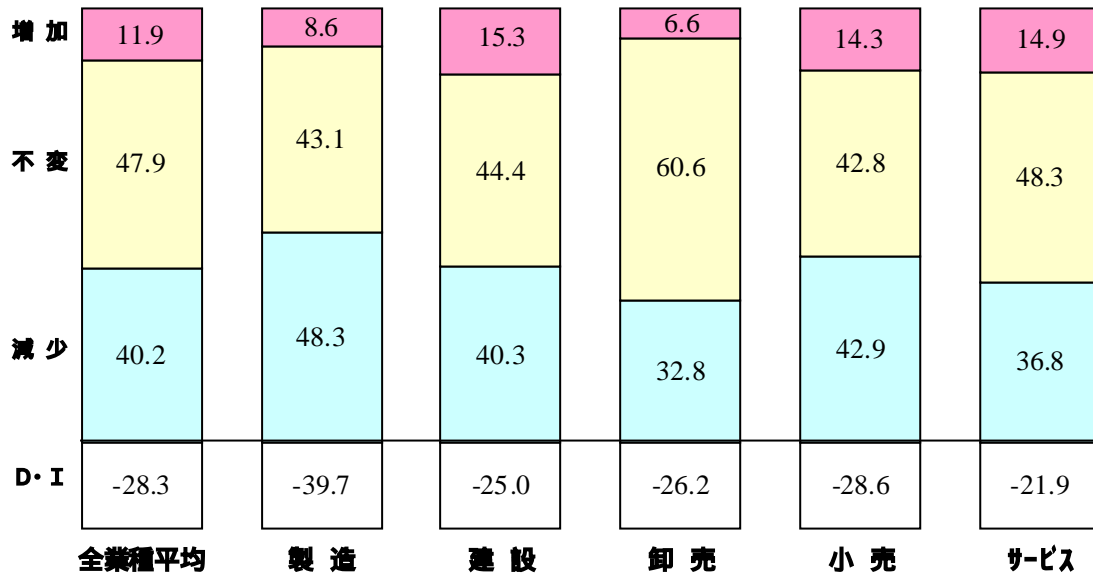
【今期比】（平成23年1～3月期の水準と比較した来期の見通し）



(2) 来期の売上高

【前年同期比】（平成22年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の売上高見通し（前年同期比）

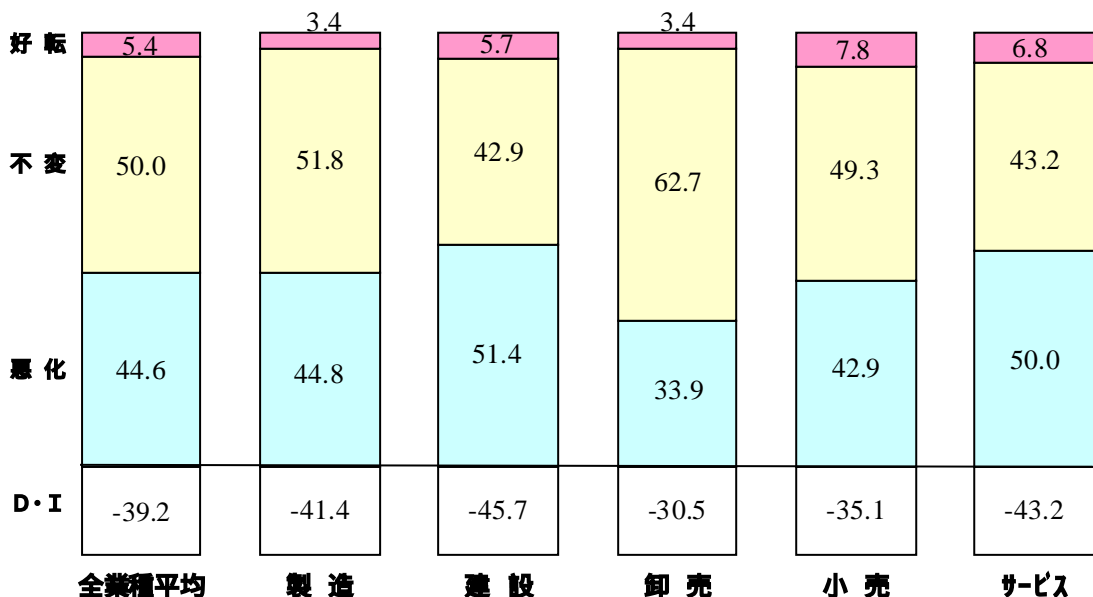


全業種平均でD・I値 28.3〔今期の売上高（前年同期比 35.5）より7.2ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(3) 来期の採算（経常利益）

【前年同期比】（平成22年4～6月期の水準と比較した来期の見通し）

来期の採算見通し（前年同期比）



全業種平均でD・I値 39.2〔今期の採算（前年同期比 28.3）より10.9ポイントマイナス幅が縮小する見通し〕。

(4) 来期の新規設備投資

(単位%)

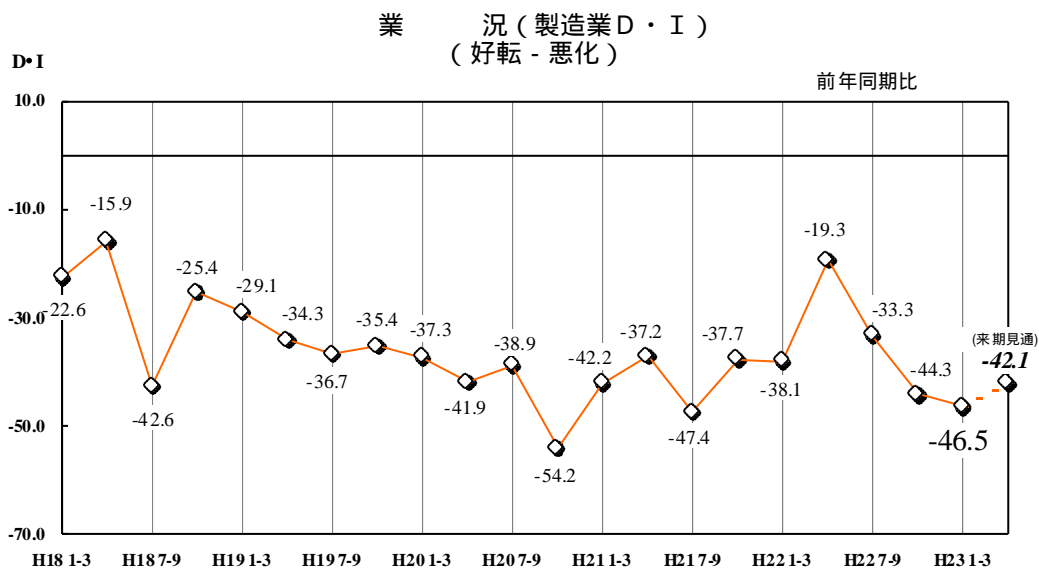
	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	全業種平均
実施する	8.6	6.8	5.0	6.5	17.2	8.8
土地	20.0	20.0	0.0	0.0	6.7	9.3
工場建物、建物、店舗	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	2.7
生産・販売・サービス設備、建設機械	20.0	20.0	0.0	40.0	40.0	24.0
車両運搬具	0.0	20.0	66.7	20.0	6.7	22.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	20.0	0.0	33.3	40.0	26.7	24.0
O A 機器	20.0	40.0	33.3	40.0	40.0	34.7
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	16.0
実施しない	91.4	93.2	95.0	93.5	82.8	91.2

新たに設備投資を予定している企業は全業種平均で**8.8%**となっており、今期(8.1%)を上回る見通し。

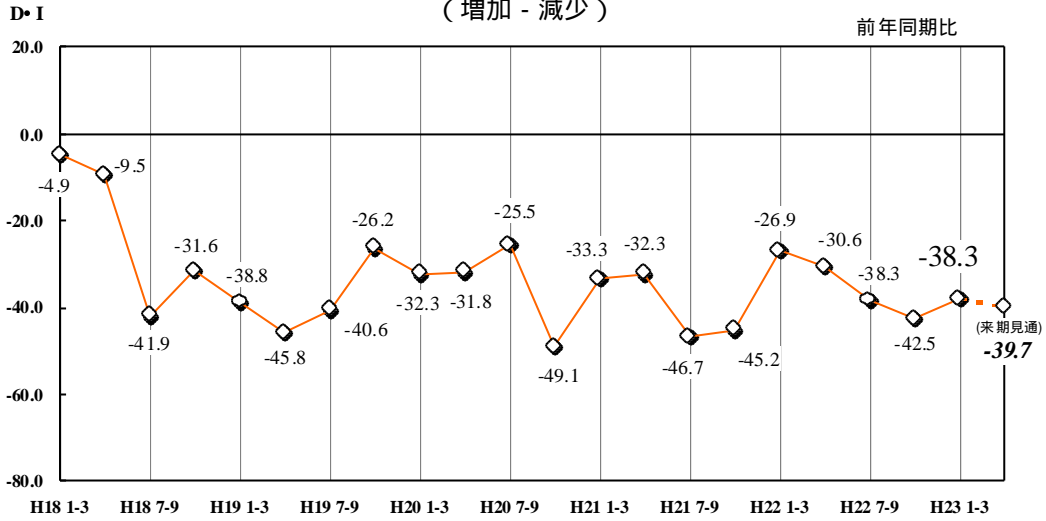
業種別では、製造〔今期13.8% 8.6%〕、建設〔今期5.6% 6.8%〕、卸売〔今期8.3% 5.0%〕、小売〔今期3.9% 6.5%〕、サービス〔今期9.1% 17.2%〕となっている。

業種別の動向

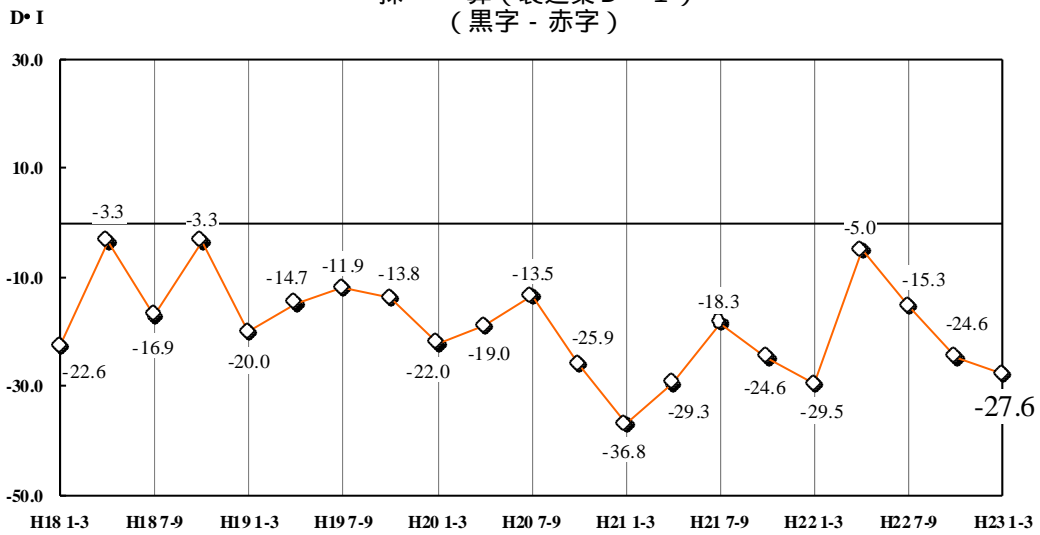
(1) 製造業



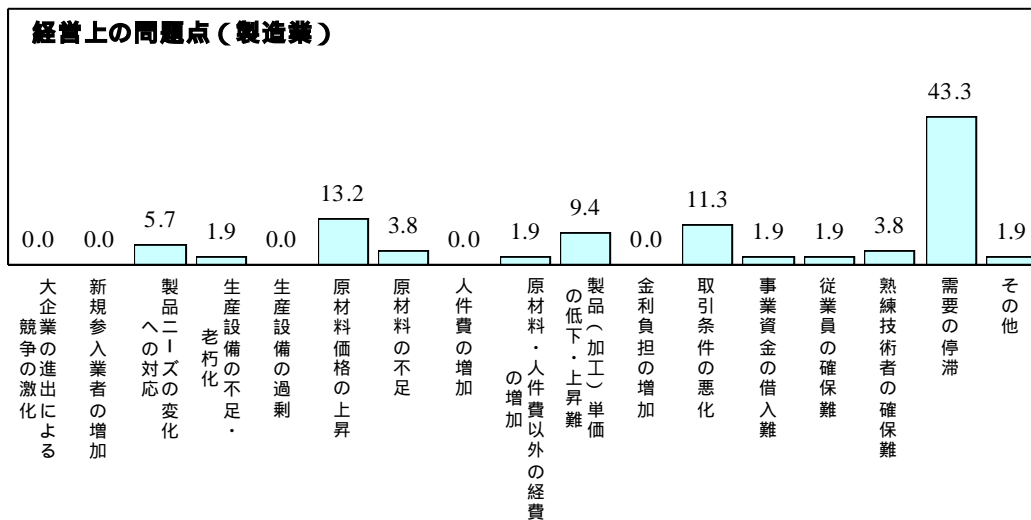
売上高（製造業D・I）
（増加 - 減少）



採算（製造業D・I）
（黒字 - 赤字）



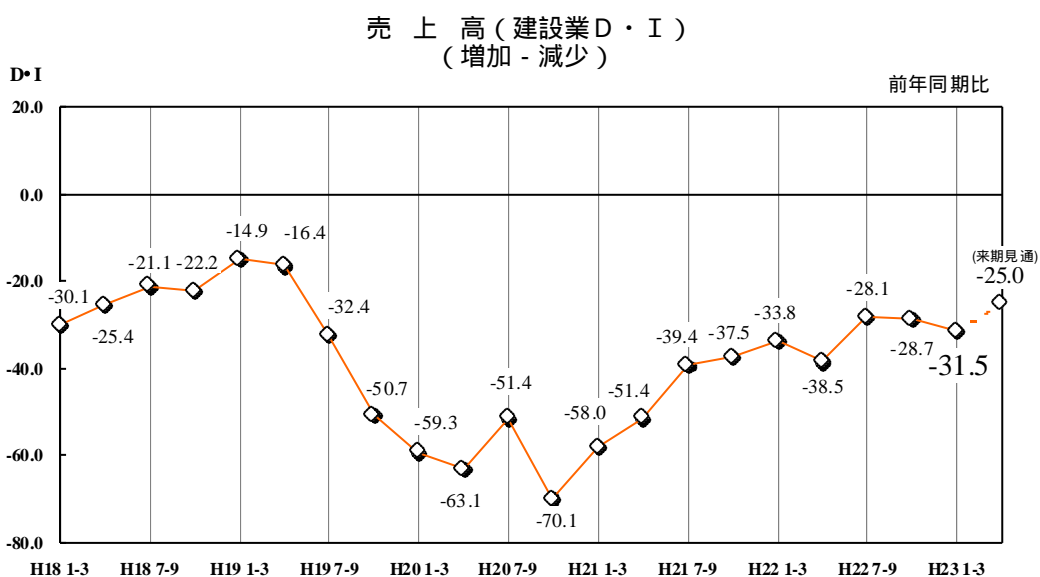
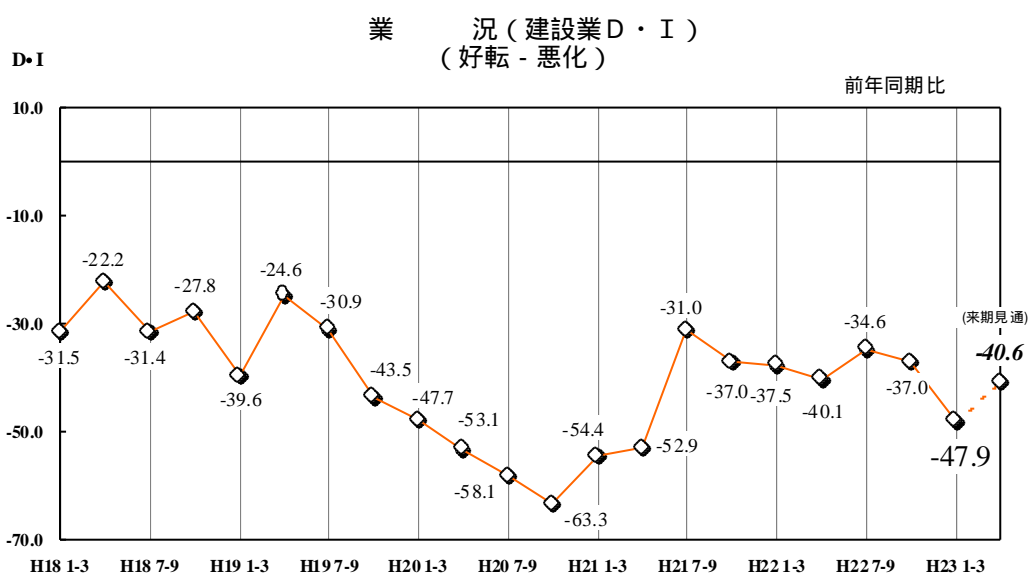
経営上の問題点



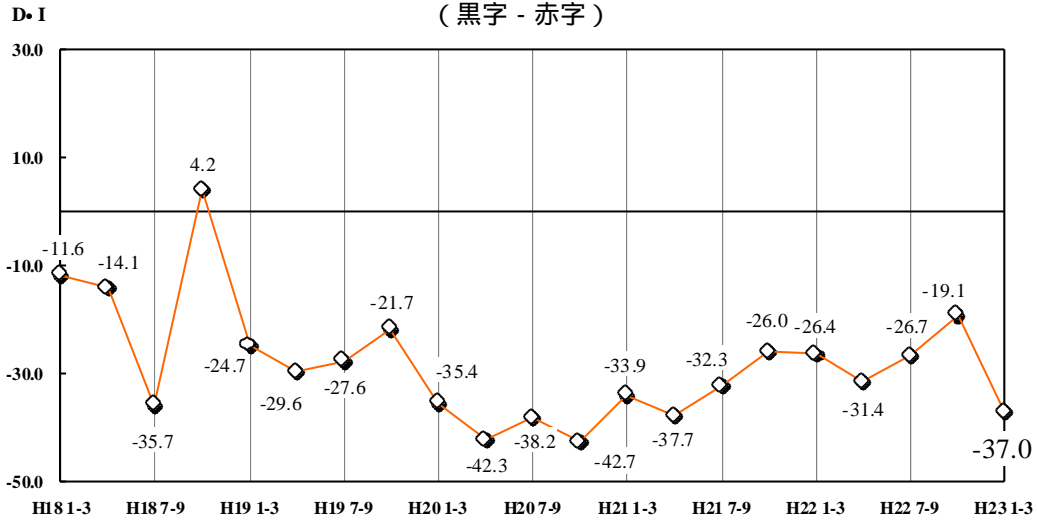
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	38.6	31.6	37.5 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	10.0	11.7 (今期比)
短期 "	-----	0.0	6.3 (今期比)
設 備 操 業 率	39.3	-----	32.1 (前年同期比)

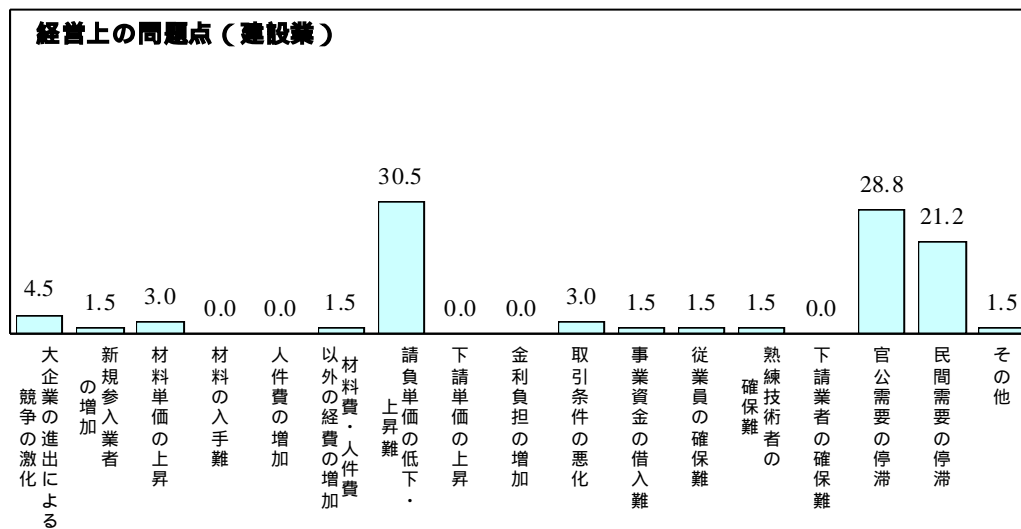
(2) 建 設 業



採 算 (建設業D・I)
(黒字 - 赤字)



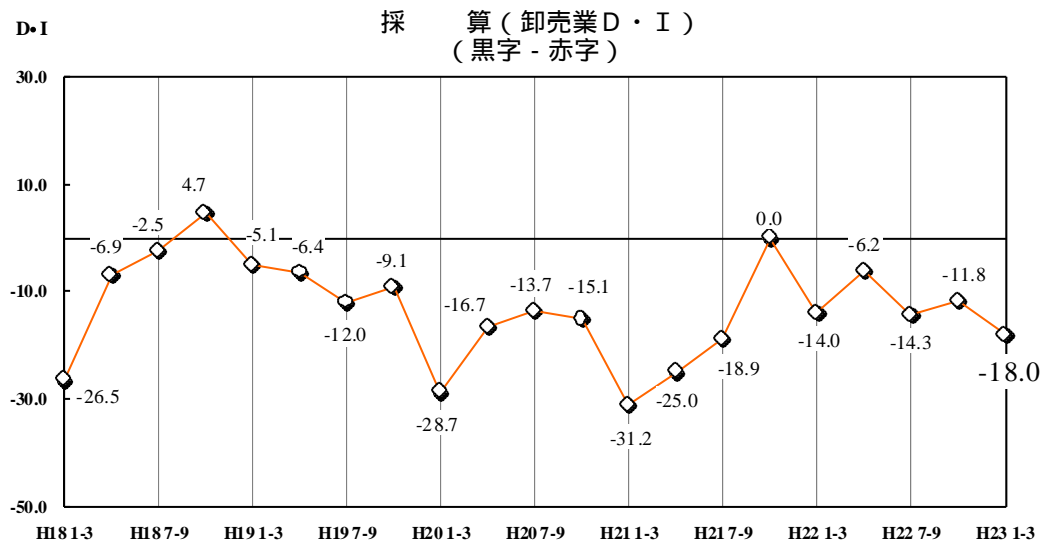
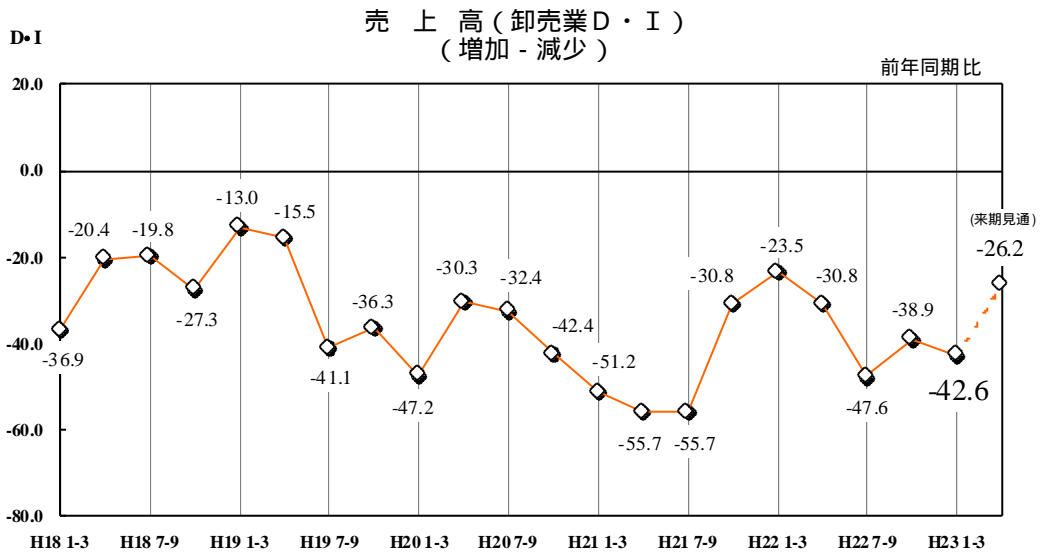
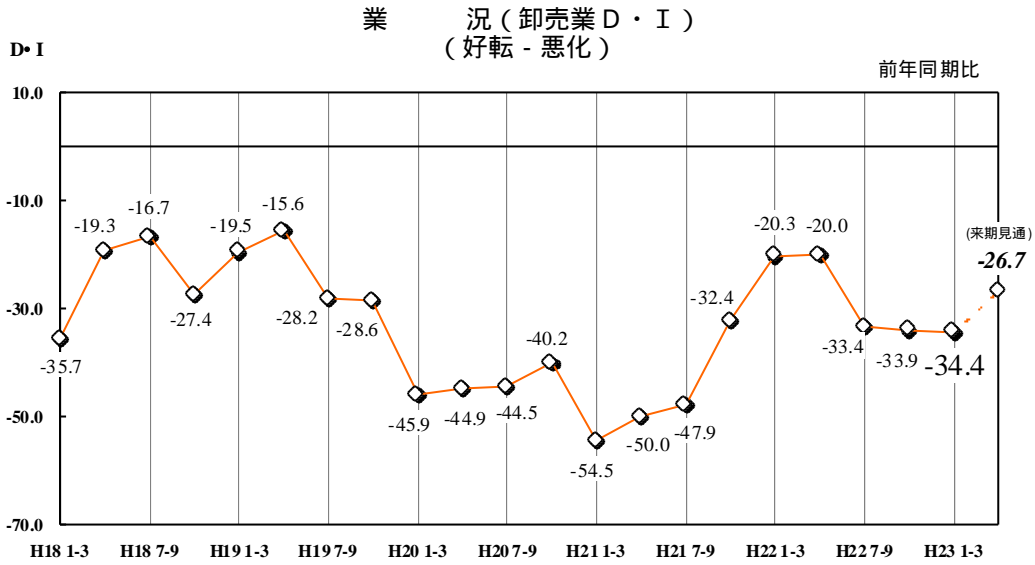
経営上の問題点



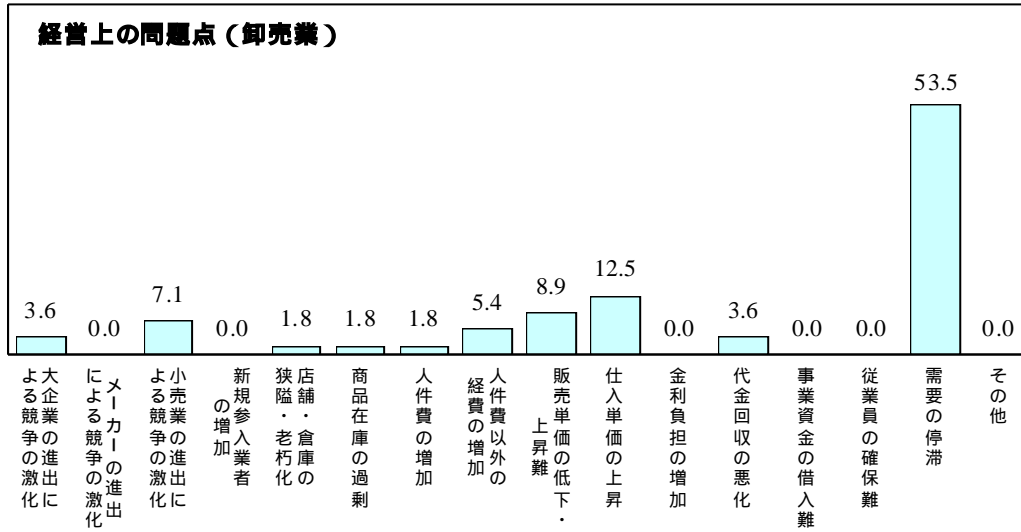
その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	34.3	43.0	33.4 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	16.9	18.4 (今期比)
短期 "	-----	7.8	9.4 (今期比)
受注(新規契約工事)額	31.8	-----	22.3 (前年同期比)

(3) 卸 売 業



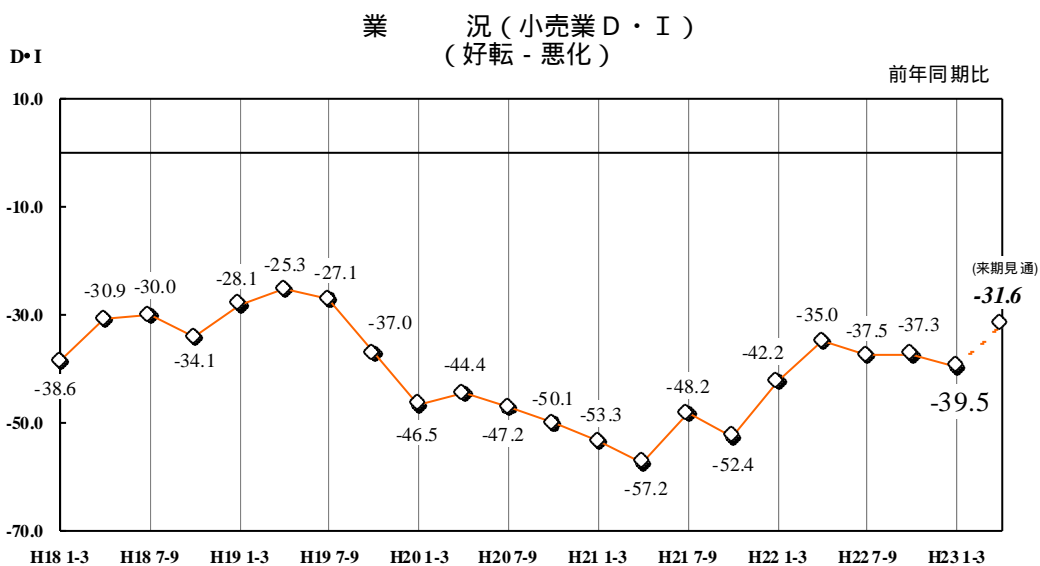
経営上の問題点

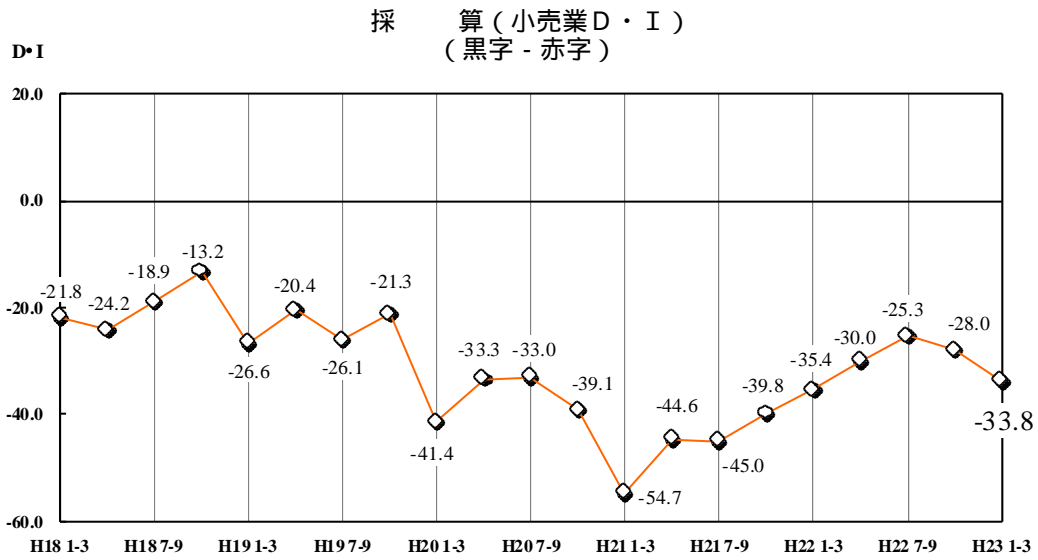
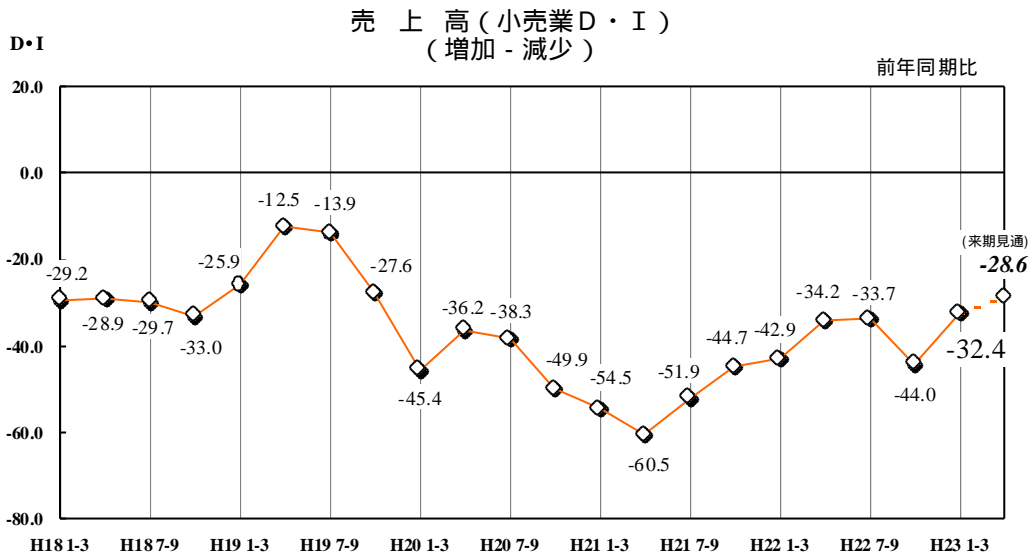


その他（D・I値）

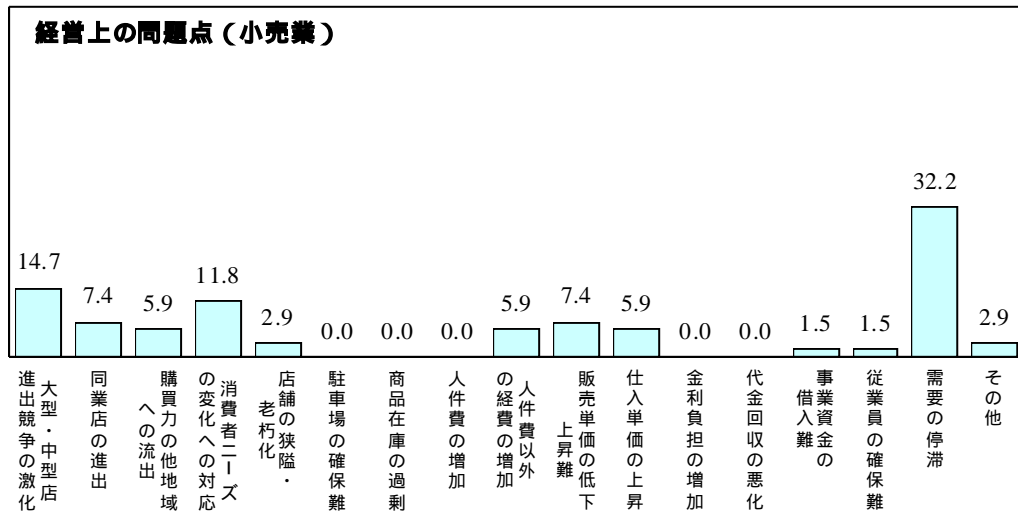
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	22.9	23.0	22.9 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	3.5	3.5 (今期比)
短期 "	-----	1.7	3.5 (今期比)
商品在庫数量	18.3	-----	21.6 (前年同期比)

(4) 小 売 業





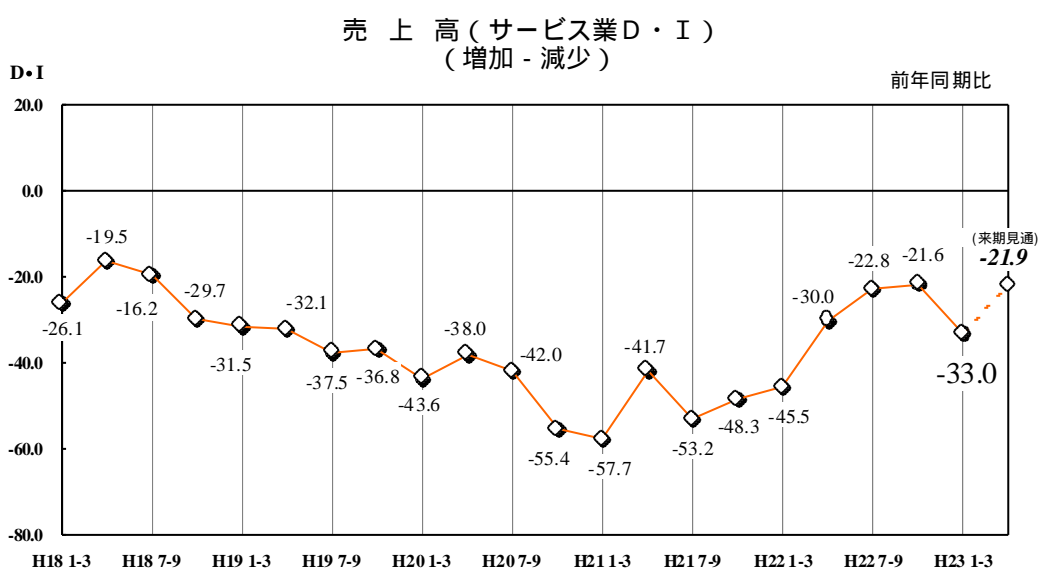
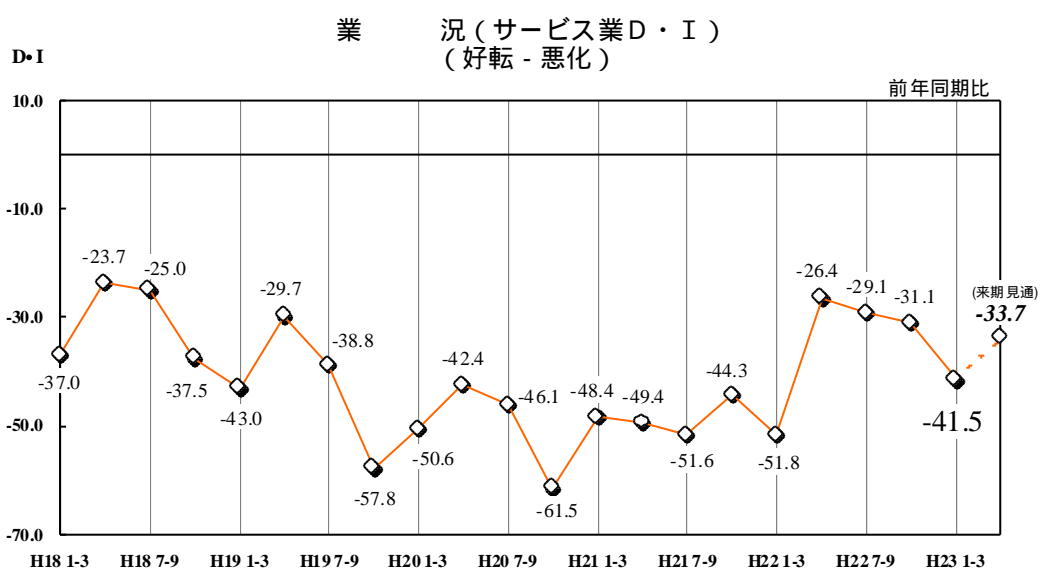
経営上の問題点

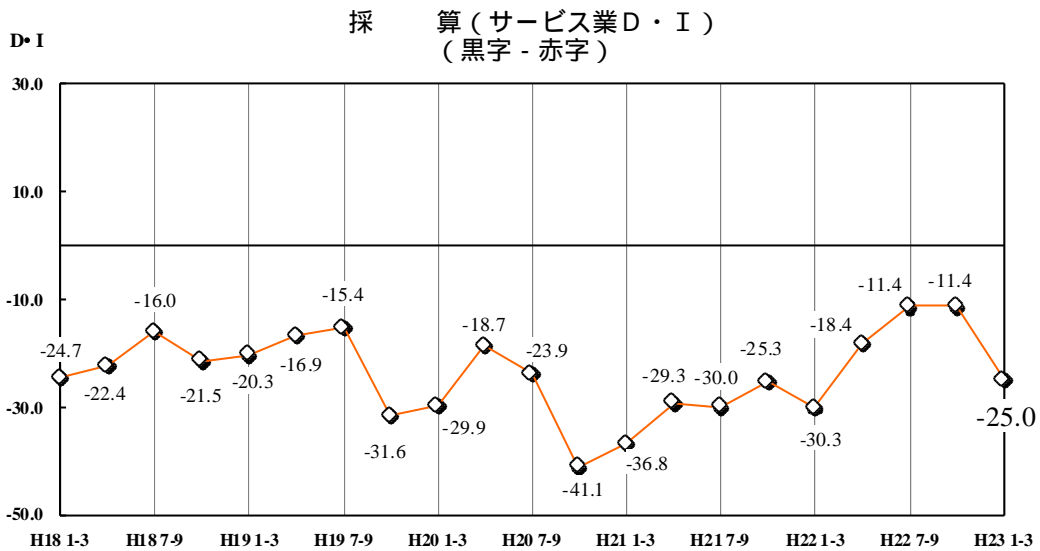


その他 (D・I値)

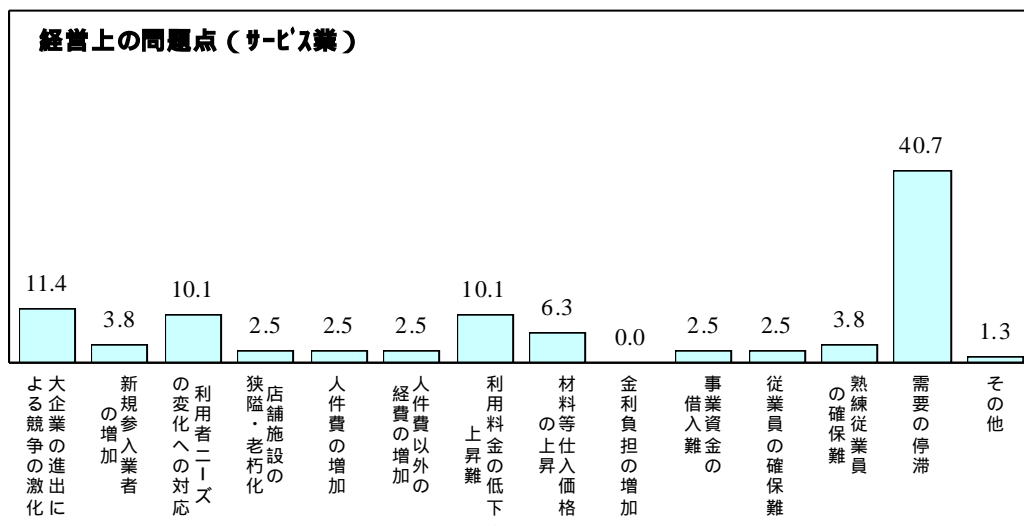
	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	31.5	30.7	23.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	14.7	12.5 (今期比)
短期 "	-----	8.2	7.0 (今期比)
商品在庫数量	17.1	-----	15.8 (前年同期比)

(5) サービス業





経営上の問題点



その他 (D・I値)

	今 期		来 期 (見通し)
	(前年同期比)	(前期比)	
資 金 繰 り	27.7	28.6	29.7 (前年同期比)
長期資金借入難度	-----	28.9	34.2 (今期比)
短期 "	-----	18.5	25.7 (今期比)
利 用 客 数	22.6	36.9	19.0 (前年同期比)

業種別調査資料

1. 製造業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成23年1月～3月)の水準			
	今	期	期	D・I
業況(自社)	10.3	31.0	58.7	-46.4
生産に対する原材料在庫	1.9	94.4	3.7	-1.8
売上に対する製品在庫	6.0	92.0	2.0	4.0
採算(経常利益)	12.1	48.2	39.7	-27.6
引合	7.4	38.9	53.7	-46.3
生産設備	10.7	83.9	5.4	5.3
従業員(含臨時・パート)	14.3	80.3	5.4	8.9

▲: 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ▼: 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成22年1月～3月)に比べて				前期(平成22年10月～12月)に比べて				前年同期(平成22年1月～3月)と比べた 来期(平成23年4月～6月)の見通し			
	前	年	同	期	前	期	同	期	前	年	同	期
A 売上(加工)額	12.1	37.9	50.0	-37.9	6.9	34.5	58.6	-51.7	8.6	43.1	48.3	-39.7
B 売上(加工)単価	3.4	65.6	31.0	-27.6	5.2	72.4	22.4	-17.2	6.9	60.3	32.8	-25.9
C 売上(加工)数量	13.8	36.2	50.0	-36.2	5.2	36.2	58.6	-53.4	10.3	37.9	51.8	-41.5
D 資金繰り	3.5	54.4	42.1	-38.6	3.5	61.4	35.1	-31.6	1.8	58.9	39.3	-37.5
E 輸出入額	0.0	83.3	16.7	-16.7					0.0	87.5	12.5	-12.5
F 原材料仕入単価	40.4	52.6	7.0	33.4					35.1	54.4	10.5	24.6
G 原材料在庫数量	3.6	76.4	20.0	-16.4					3.7	79.6	16.7	-13.0
H 製品在庫数量	6.0	74.0	20.0	-14.0					2.0	83.7	14.3	-12.3
I 採算(経常利益)	5.2	41.4	53.4	-48.2					3.4	51.8	44.8	-41.4
J 従業員(含臨時・パート)	3.6	78.5	17.9	-14.3					5.4	83.9	10.7	-5.3
K 外部人材(請負・派遣)	0.0	96.0	4.0	-4.0					3.8	96.2	0.0	3.8
L 設備操業率	3.6	53.5	42.9	-39.3					3.6	60.7	35.7	-32.1
M 引合	13.0	44.4	42.6	-29.6								
N 受注残	2.0	62.0	36.0	-34.0								
O 業況(自社)	5.2	43.1	51.7	-46.5	5.5	50.9	43.6	-38.1	1.8	54.3	43.9	-42.1
P 受取手形期間					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
Q 長期資金借入難度					8.0	74.0	18.0	-10.0	5.9	76.5	17.6	-11.7
R 短期資金借入難度(含手形割引)					8.7	82.6	8.7	0.0	4.3	85.1	10.6	-6.3
S 借入金金利					4.1	89.8	6.1	-2.0	4.0	92.0	4.0	0.0

▲: 増加 ▲: 上昇 ▲: 好転 ▲: 長期化 ▲: 容易
 - : 不変(A, C, E, G, H, J, K, M, N) - : 不変(B, F, L, S) - : 不変(D, I, O) - : 不変(P) - : 不変(Q, R)
 ▼: 減少 ▼: 低下 ▼: 悪化 ▼: 短期化 ▼: 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	工場建物	生産設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	13.8	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	12.5	86.2
来期	8.6	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	91.4

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	0.0	5.7
新規参入業者の増加	0.0	0.0
製品ニーズの変化への対応	5.7	15.1
生産設備の不足・老朽化	1.9	13.2
生産設備の過剰	0.0	0.0
原材料価格の上昇	13.2	37.7
原材料の不足	3.8	5.7
人件費の増加	0.0	11.3
原材料費・人件費以外の経費の増加	1.9	11.3
製品(加工)単価の低下・上昇難	9.4	43.4
金利負担の増加	0.0	1.9
取引条件の悪化	11.3	18.9
事業資金の借入難	1.9	9.4
従業員の確保難	1.9	3.8
熟練技術者の確保難	3.8	15.1
需要の停滞	43.3	62.3
その他	1.9	1.9

2. 建設業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成23年1月~3月)の水準			
	今	期	期	D・I
業況(自社)	5.5	34.2	60.3	-54.8
採算(経常利益)	8.2	46.6	45.2	-37.0
引合	9.1	40.9	50.0	-40.9
従業員(含臨時・パート)	13.9	79.2	6.9	7.0

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成22年1月~3月)に比べて				前期(平成22年10月~12月)に比べて				前年同期(平成22年1月~3月)と比べた 来期(平成23年4月~6月)の見通し			
	今	期	期	D・I	今	期	期	D・I	今	期	期	D・I
A 完成工事(請負工事)額	17.8	32.9	49.3	-31.5	11.1	23.6	65.3	-54.2	15.3	44.4	40.3	-25.0
B 資金繰り	4.1	57.5	38.4	-34.3	2.8	51.4	45.8	-43.0	6.9	52.8	40.3	-33.4
C 受注(新規契約工事)額	6.3	55.6	38.1	-31.8					6.3	65.1	28.6	-22.3
D 材料仕入単価	22.2	75.0	2.8	19.4					28.2	66.2	5.6	22.6
E 採算(経常利益)	5.5	38.4	56.1	-50.6					5.7	42.9	51.4	-45.7
F 従業員(含臨時・パート)	8.3	66.7	25.0	-16.7					5.7	74.3	20.0	-14.3
G 外部人材(請負・派遣)	7.6	66.6	25.8	-18.2					3.1	72.3	24.6	-21.5
H 引合	9.4	48.4	42.2	-32.8								
I 契約残(未消化工事高)	4.5	49.2	46.3	-41.8								
J 業況(自社)	5.5	41.1	53.4	-47.9	8.2	34.2	57.6	-49.4	11.6	36.2	52.2	-40.6
	前年同期(平成22年1月~3月)に比べて				前期(平成22年10月~12月)に比べて				今期(平成23年1月~3月)と比べた 来期(平成23年4月~6月)の見通し			
K 受取手形期間					5.6	94.4	0.0	5.6	7.3	92.7	0.0	7.3
L 長期資金借入難度					6.2	70.7	23.1	-16.9	3.1	75.4	21.5	-18.4
M 短期資金借入難度(含手形割引)					7.8	76.6	15.6	-7.8	4.7	81.2	14.1	-9.4
N 借入金					9.0	91.0	0.0	9.0	9.0	91.0	0.0	9.0

↗ : 増加
 - : 不変(A, C, F, G, H, I)
 ↘ : 減少
 ↗ : 上昇
 - : 不変(D, N)
 ↘ : 低下
 ↗ : 好転
 - : 不変(B, E, J)
 ↘ : 悪化
 ↗ : 長期化
 - : 不変(K)
 ↘ : 短期化
 ↗ : 容易
 - : 不変(L, M)
 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画していない								
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	5.6	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	94.4
来期	6.8	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	93.2

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	4.5	15.2
新規参入業者の増加	1.5	9.1
材料単価の上昇	3.0	15.2
材料の入手難	0.0	1.5
人件費の増加	0.0	1.5
材料費・人件費以外の経費の増加	1.5	7.6
請負単価の低下・上昇難	30.5	71.2
下請単価の上昇	0.0	1.5
金利負担の増加	0.0	0.0
取引条件の悪化	3.0	15.2
事業資金の借入難	1.5	9.1
従業員の確保難	1.5	3.0
熟練技術者の確保難	1.5	7.6
下請業者の確保難	0.0	1.5
官公需要の停滞	28.8	56.1
民間需要の停滞	21.2	63.6
その他	1.5	3.0

3.卸売業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区分	今期(平成23年1月~3月)の水準			
	今	期	期	D・I
業況(自社)	3.3	41.0	55.7	-52.4
売上に対する商品在庫	20.0	80.0	0.0	20.0
採算(経常利益)	14.8	52.4	32.8	-18.0
引合	0.0	55.0	45.0	-45.0
従業員(含臨時・パート)	3.4	96.6	0.0	3.4

↗ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ↘ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区分	前年同期(平成22年1月~3月)に比べて				前期(平成22年10月~12月)に比べて				前年同期(平成22年1月~3月)と比べた 来期(平成23年4月~6月)の見通し			
	今	期	期	D・I	今	期	期	D・I	今	期	期	D・I
A 売上額	11.5	34.4	54.1	-42.6	13.3	26.7	60.0	-46.7	6.6	60.6	32.8	-26.2
B 売上単価	6.6	68.8	24.6	-18.0	6.6	77.0	16.4	-9.8	11.5	70.5	18.0	-6.5
C 資金繰り	3.3	70.5	26.2	-22.9	1.6	73.8	24.6	-23.0	3.3	70.5	26.2	-22.9
D 商品仕入単価	28.3	65.0	6.7	21.6					31.7	63.3	5.0	26.7
E 商品仕入数量	4.9	49.2	45.9	-41.0					6.7	61.6	31.7	-25.0
F 商品在庫数量	11.7	58.3	30.0	-18.3					6.7	65.0	28.3	-21.6
G 採算(経常利益)	4.9	49.2	45.9	-41.0					3.4	62.7	33.9	-30.5
H 従業員(含臨時・パート)	5.4	85.7	8.9	-3.5					5.4	89.2	5.4	0.0
I 外部人材(請負・派遣)	0.0	95.1	4.9	-4.9					0.0	97.5	2.5	-2.5
J 引合	0.0	59.3	40.7	-40.7								0.0
K 業況(自社)	8.2	49.2	42.6	-34.4	4.9	52.5	42.6	-37.7	5.0	63.3	31.7	-26.7
L 受取手形期間					2.0	96.0	2.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
M 長期資金借入難度					7.0	82.5	10.5	-3.5	5.4	85.7	8.9	-3.5
N 短期資金借入難度(含手形割引)					6.9	84.5	8.6	-1.7	5.3	85.9	8.8	-3.5
O 借入金利息					0.0	92.9	7.1	-7.1	1.8	94.6	3.6	-1.8

↗ : 増加 ↗ : 上昇 ↗ : 好転 ↗ : 長期化 ↗ : 容易
 - : 不変(A, E, F, H, I, J) - : 不変(B, D, O) - : 不変(C, G, K) - : 不変(L) - : 不変(M, N)
 ↘ : 減少 ↘ : 低下 ↘ : 悪化 ↘ : 短期化 ↘ : 困難

(3) 新規設備投資 (単位: %)

区分	実施・計画している	実施・計画している								実施・計画していない
		土地	店舗	倉庫	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
今期	8.3	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	91.7
来期	5.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	95.0

(4) 今期直面している経営上の問題点 (単位: %)

問題点	1位	1~3位
大企業の進出による競争の激化	3.6	7.1
メーカーの進出による競争の激化	0.0	5.4
小売業の進出による競争の激化	7.1	10.7
新規参入業者の増加	0.0	7.1
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1.8	7.1
商品在庫の過剰	1.8	7.1
人件費の増加	1.8	7.1
人件費以外の経費の増加	5.4	17.9
販売単価の低下・上昇難	8.9	39.3
仕入単価の上昇	12.5	19.6
金利負担の増加	0.0	0.0
代金回収の悪化	3.6	16.1
事業資金の借入難	0.0	3.6
従業員の確保難	0.0	1.8
需要の停滞	53.5	83.9
その他	0.0	0.0

4.小 売 業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成23年1月～3月)の水準			
	今	期	平	D・I
業 況 (自 社)	3.9	35.1	61.0	-57.1
売 上 に 対 す る 原 材 料 在 庫	13.2	77.6	9.2	4.0
採 算 (経 常 利 益)	7.8	50.6	41.6	-33.8
従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	7.0	87.4	5.6	1.4

▲ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ▼ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成22年1月～3月)に比べて				前期(平成22年10月～12月)に比べて				前年同期(平成22年1月～3月)と比べた 来 期(平成23年4月～6月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	同	D・I	前	年	同	D・I
A 売 上 額	19.5	28.6	51.9	-32.4	10.5	27.6	61.9	-51.4	14.3	42.8	42.9	-28.6
B 客 単 価	9.1	45.4	45.5	-36.4	6.6	47.3	46.1	-39.5	7.8	53.2	39.0	-31.2
C 客 数	11.7	37.7	50.6	-38.9	5.3	34.2	60.5	-55.2	9.1	48.0	42.9	-33.8
D 資 金 繰 り	5.3	57.9	36.8	-31.5	1.3	66.7	32.0	-30.7	3.9	68.5	27.6	-23.7
E 商 品 仕 入 単 価	23.7	53.9	22.4	1.3					21.1	63.1	15.8	5.3
F 商 品 仕 入 額	18.4	38.2	43.4	-25.0					13.2	47.3	39.5	-26.3
G 商 品 在 庫 数 量	7.9	67.1	25.0	-17.1					6.6	71.0	22.4	-15.8
H 採 算 (経 常 利 益)	9.1	44.2	46.7	-37.6					7.8	49.3	42.9	-35.1
I 従 業 員 (含 臨 時・パ ー ト)	7.4	82.3	10.3	-2.9					5.9	85.3	8.8	-2.9
J 外 部 人 材 (請 負・派 遣)	4.3	87.2	8.5	-4.2					2.1	89.6	8.3	-6.2
K 業 況 (自 社)	9.2	42.1	48.7	-39.5	8.1	48.7	43.2	-35.1	6.6	55.2	38.2	-31.6
	前年同期(平成22年1月～3月)に比べて				前期(平成22年10月～12月)に比べて				今 期(平成23年1月～3月)と比べた 来 期(平成23年4月～6月)の見通し			
L 長 期 資 金 借 入 難 度					5.9	73.5	20.6	-14.7	3.1	81.3	15.6	-12.5
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					4.9	82.0	13.1	-8.2	3.5	86.0	10.5	-7.0
N 借 入 金 利					3.0	94.0	3.0	0.0	4.8	92.0	3.2	1.6

▲ : 増加
 - : 不変 (A, C, F, G, I, J)
 ▼ : 減少
 ▲ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ▼ : 低下
 ▲ : 好転
 - : 不変 (D, H, K)
 ▼ : 悪化
 ▲ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ▼ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している									実施・計画 していない
		土 地	店 舗	販 売 設 備	車 両・運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	3.9	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	100.0	0.0	0.0	96.1
来 期	6.5	0.0	0.0	40.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	93.5

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3 位
大・中型店の進出による競争の激化	14.7	30.9
同 業 者 の 進 出	7.4	16.2
購 買 力 の 他 地 域 へ の 流 出	5.9	27.9
消 費 者 ニ ー ズ の 変 化 へ の 対 応	11.8	22.1
店 舗 の 狭 隘・老 朽 化	2.9	8.8
駐 車 場 の 確 保 難	0.0	1.5
商 品 在 庫 の 過 剰	0.0	2.9
人 件 費 の 増 加	0.0	5.9
人 件 費 以 外 の 経 費 の 増 加	5.9	8.8
販 売 単 価 の 低 下・上 昇 難	7.4	35.3
仕 入 単 価 の 上 昇	5.9	14.7
金 利 負 担 の 増 加	0.0	1.5
代 金 回 収 の 悪 化	0.0	2.9
事 業 資 金 の 借 入 難	1.5	10.3
従 業 員 の 確 保 難	1.5	4.4
需 要 の 停 滞	32.2	57.4
そ の 他	2.9	4.4

5. サービス業

(1) 今期の水準 (単位: %)

区 分	今 期(平成23年1月～3月)の水準			
	今	期	前	D・I
業 況 (自 社)	5.7	39.1	55.2	-49.5
採 算 (経常利益)	13.6	47.8	38.6	-25.0
従 業 員 (含臨時・パート)	8.6	82.8	8.6	0.0

▲ : 良い、過剰、黒字、活発
 - : ふつう、適正、収支トントン
 ▼ : 悪い、不足、赤字、低調

(2) 売上・採算・資金繰り等の状況

区 分	前年同期(平成22年1月～3月)に比べて				前期(平成22年10月～12月)に比べて				前年同期(平成22年1月～3月)と比べた 来 期(平成23年4月～6月)の見通し			
	前	年	同	D・I	前	期	同	D・I	前	年	同	D・I
A 売 上 (収 入) 額	12.5	42.0	45.5	-33.0	9.1	34.1	56.8	-47.7	14.9	48.3	36.8	-21.9
B 客 単 価	2.3	65.1	32.6	-30.3	2.3	62.8	34.9	-32.6	4.7	60.4	34.9	-30.2
C 利 用 客 数	13.1	51.2	35.7	-22.6	6.0	51.1	42.9	-36.9	14.3	52.4	33.3	-19.0
D 資 金 繰 り	3.6	65.1	31.3	-27.7	1.2	69.0	29.8	-28.6	3.6	63.1	33.3	-29.7
E 仕 入 単 価 (材 料 等)	33.3	60.7	6.0	27.3					29.8	63.1	7.1	22.7
F 採 算 (経 常 利 益)	9.1	39.8	51.1	-42.0					6.8	43.2	50.0	-43.2
G 従 業 員 (含 臨 時 ・ パ ー ト)	7.6	75.9	16.5	-8.9					13.9	73.4	12.7	1.2
H 外 部 人 材 (請 負 ・ 派 遣)	5.1	86.4	8.5	-3.4					3.4	88.1	8.5	-5.1
I 業 況 (自 社)	8.0	42.5	49.5	-41.5	4.8	52.3	42.9	-38.1	9.3	47.7	43.0	-33.7
L 長 期 資 金 借 入 難 度					0.0	71.1	28.9	-28.9	0.0	65.8	34.2	-34.2
M 短 期 資 金 借 入 難 度 (含 手 形 割 引)					2.9	75.7	21.4	-18.5	1.4	71.5	27.1	-25.7
N 借 入 金 利					5.6	87.5	6.9	-1.3	4.2	88.9	6.9	-2.7

▲ : 増加
 - : 不変 (A, C, G, H)
 ▼ : 減少
 ▲ : 上昇
 - : 不変 (B, E, N)
 ▼ : 低下
 ▲ : 好転
 - : 不変 (D, F, I)
 ▼ : 悪化
 ▲ : 容易
 - : 不変 (L, M)
 ▼ : 困難

(3) 新規設備投資

(単位: %)

区 分	実施・計画 している	実施・計画 していない								
		土 地	建 物	サ ー ビ ス 設 備	車 両 ・ 運 搬 具	付 帯 施 設	O A 機 器	福 利 厚 生 施 設	そ の 他	
今 期	9.1	12.5	12.5	25.0	25.0	37.5	75.0	0.0	0.0	90.9
来 期	17.2	6.7	13.3	40.0	6.7	26.7	40.0	0.0	20.0	82.8

(4) 今期直面している経営上の問題点

(単位: %)

問 題 点	1 位	1～3位
大企業の進出による競争の激化	11.4	20.3
新規参入業者の増加	3.8	15.2
利用者ニーズの変化への対応	10.1	36.7
店舗施設の狭隘・老朽化	2.5	8.9
人件費の増加	2.5	11.4
人件費以外の経費の増加	2.5	15.2
利用料金の低下・上昇難	10.1	36.7
材料等仕入単価の上昇	6.3	24.1
金利負担の増加	0.0	1.3
事業資金の借入難	2.5	19.0
従業員の確保難	2.5	7.6
熟練従業員の確保難	3.8	11.4
需要の停滞	40.7	65.8
その他	1.3	3.8